

# 教育問題の社会学的考察

## —— モラルパニック論による校内暴力の分析 ——

太田佳光

(教育実践研究指導センター)

(平成6年9月30日受理)

### 1. 問題の所在

近年、わが国の学校教育は、さまざまな「教育問題」に直面してきた。校内暴力、体罰、いじめ、登校拒否・不登校など、多くの問題が表面化し、それらへの対策や研究が進められてきた。その中で校内暴力は、学校教育の問題が社会問題として、極めて明確な形で認識された最初の出来事であった。それまで、受験競争の激化、落ちこぼれといった教育問題は存在したものの、現代学校教育のより危機的な状況として、校内暴力は立ち現れてきた。しかしながら、その問題は、校内暴力を抑止するための対処療法的研究・政策を結果として導き、その本質的な問題点は不問に付されたまま、忘れさられている。<sup>(1)</sup> 現在も、多くの学校現場で抱える問題でありながら、その研究の状況と、見えにくさは変わっていない。

このような問題意識から筆者はこれまで、校内暴力生起を分析する枠組みの構築、ボンド理論による分析などを試みてきた。<sup>(2)</sup> その上で、そのネーミングを含め、なぜ「校内暴力」なのかという点の説明が一つの課題として残されてきた。つまり、1980年代に社会問題化するまで、学校内における暴力非行はなかったのか。なぜそのようなネーミングがされ、その後急増し、さらに、問題が終焉したのか（あるいは、急増し終焉したような印象が我々にもたらされたのか）。それはその後続く「いじめ」「体罰」「登校拒否・不登校」といった教育問題とどのような関係をもつのか、といった課題である。

そこで、このような問題を解決するための一つの試みとして、マス・メディアがある種の社会問題を創出するとする「モラルパニック論」による分析を行うことにする。具体的には、1970年代中頃に徐々に問題となってきた学校内における暴力非行が、マスコミに大きく取り上げられ、「校内暴力」として社会問題化した経緯はどのようなものであったのか。また、そのことが校内暴力生起にどのような影響をもたらしたのか、を解明することである。

### 2. 分析の視点

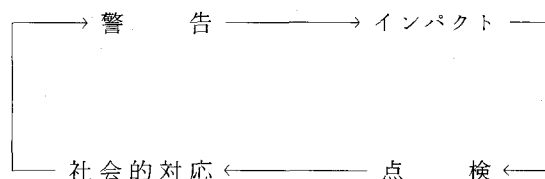
#### 1) モラルパニック論

分析の視点としてのモラルパニック論は、コーエンの所論を中心に徳岡秀雄によって次のように定義されている。<sup>(3)</sup> すなわち、「モラルパニックとは、ある事態、出来事、個人、集団などが、社会的価値や関心にとっての脅威と定義され、その意味づけがマス・メディアによって

固定化され、文筆家、聖職者、政治家その他の右翼的な人々が道徳防衛のためのバリケード構築に乗りだし、社会的に信望のある専門家たちが診断を下し、対策を提言し、それへの対処法が創出される、そのような事態である。かくしてその事態は、消滅したり潜行化したり悪化したりすることで、より人々の目に明らかになる。パニックの対象そのものは、ときには目新しい場合もあればずっと以前から存在していた場合もある。それが突然、表舞台に踊り出てくる。時にはそのパニックは過ぎ去り、民間伝承や人々の記憶にとどまるだけで忘れ去られてしまう。しかしある時には、深刻で長期的な反響をもたらし、法政策や、社会政策、さらには社会の自己認識のあり方をさえ変更させる。」<sup>(4)</sup>

そして、その枠組みは、図1に示したように、警告、インパクト、点検、社会的対応という一連の、循環的流れによって表されている。ここで、警告とは、危険が生じるかもしれないと

図1. モラルパニック論の枠組み



いうある種の懸念が生じ、人々は差し迫った危険を指示する他者からのコミュニケーションや、近づきつつある事態の兆しに曝されることを言う。またインパクトは、事態が生起し、傷害・破壊などに対する直接的・未組織的反応が生じること。点検は、事態に遭遇することにより、何が起こったのか、どのような状況におかれているのか、についての大まかな予備的見取り図が描き始められることを指している。社会的対応は、意見・態度的レベルの社会的反作用、具体的対処レベルの社会的反作用を指す。意見・態度的レベルでは、事態に関するオリエンテーション [逸脱を評価する際の情緒的・知的観点]、イメージ [逸脱者の行動の性質についての意見]、原因 [行動の原因に関する意見] の三側面について社会的反作用が見られる。具体的対処レベルでは、神経過敏化、社会統制 [公的統制機関の制度化された反作用]、逸脱の搾取的利用 [商業的、イデオロギー的搾取] の三側面が見られる。<sup>(5)</sup>

## 2) 分析の対象と方法

モラルパニックをもたらすマス・メディアの種類とその情報量が、校内暴力が社会問題化した当時 (1980年頃)、現在とほとんど変わらぬ質・量を既に備えていたことは間違いないと思われる。したがって、それらのメディアをすべて網羅して分析することは不可能に近く、とりわけ、映像メディアは、その性格上、内容分析をおこなうことは非常に困難であると言えよう。そこで、メディアの中で最も継続的な分析が可能であり、事実関係の報道が、少なくとも、多くのメディアの中では最も客観的に行われるであろう新聞を分析対象として取り上げることにしたい。

対象紙は朝日新聞。(朝日新聞を選択したことに特別の理由はない。なお、今後、毎日新聞などの全国紙をさらに分析の対象に加える必要はある。) 分析の期間は、1970年 (昭和45年) から1992年 (平成4年) までとする。経験的に想定できる校内暴力の報道が最も盛んであった

のは、1980年（昭和55年）頃であった。したがって、分析のスパンはその前後約10年間としている。検索は、すべて縮刷版見出しより行い、同時にその記事内容をすべてチェックし、校内暴力記事、論稿、もしくは、関連記事を可能な限り網羅した。また、1985年から1992年までは朝日新聞データベース CD-HIASK も利用している。（ただし、読者投書欄「声」の検索を含んだ分析は1979年（昭和54年）から1984年（昭和59年）までのいわゆる校内暴力事件のピーク時に限定した。）

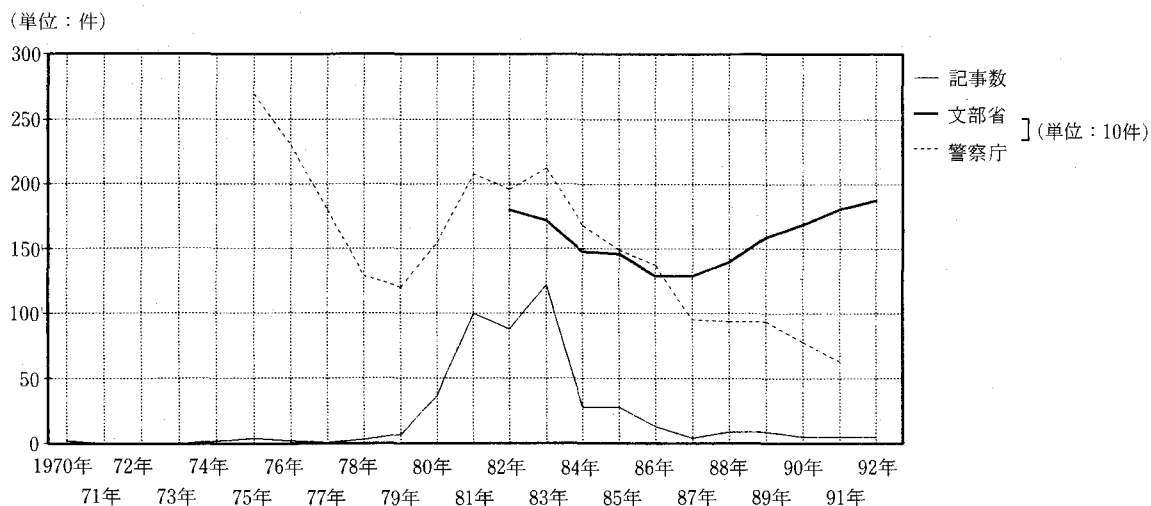
なお、「校内暴力」という用語がマス・メディアにおいて使用され始めたのも、いわゆる校内暴力事件が頻発しだした時期からであると想定されるため、検索に当たっては「校内暴力」という用語にしばられず、学校内で生じたすべての暴力事件（対教師、生徒間に加え器物破損を含む）を検索した。（検索の結果わかったことは、このような暴力事件は、おおむね、1970年代中頃までは縮刷版見出しの犯罪・「傷害」の項目に、1970年代後半には婦人・青少年の「少年非行」の項目に掲載されていた。その後、1981年に学校教育の「校内暴力」の項目が、新たに設けられた。）

### 3. モラルパニックとしての校内暴力

#### 1) 数量的把握

巻末資料に示したように、1970年から1992年の23年間で、474件の校内暴力記事を検索した。（声欄の記事数、関連記事数は含めていない。）これらの年度毎の件数の変化を図2に示している。なお、参考のため、文部省と警察庁の発表した校内暴力の発生件数も示している。

図2. 校内暴力の発生と記事数



その結果、1979年まで、少なくとも朝日新聞においては、校内暴力に関する報道はほとんどなく、それが1980年に入り登場し、81年、82年、83年にピークを迎えていることがわかる。一方、校内暴力の発生件数は、警察庁の資料によると、1975年から減少してきた件数が、報道数と同じく81年から83年にピークをむかえ、その後減少している。ところが、文部省の資料においては、82年から減少を始めた発生件数がその後増加していることが示されている。この違いは、おそらく対教師暴力の減少など、警察への通報の減少として説明できる。そのことは、文

部省が生徒間暴力の増加を白書に報告していることから推定できよう。

## 2) モラルパニックの始まり

校内暴力報道の始まりは、「事件」としてではなく、まさに「社会問題」としての報道であると言える。1978年10月21日に、「暴力生徒に無抵抗中学」の見出しで毎日新聞に報道されたいわゆる中野七中事件は、教師が無抵抗でいいのかという論調を主に、11月30日まで集中的に掲載された。ところが、毎日新聞によるこのような一連の報道にもかかわらず、朝日新聞には一行の掲載もなかった。警察庁の調査によると、当時すでに1000件を超える校内暴力が発生していたことになるが、それがニュースになるかどうかは、メディアがそれを問題ととらえるかどうかにかかっていることになる。すなわち、新聞がその事件をどうとらえるかが、このような問題（事件自体は軽い傷害事件であろうし、一般には新聞報道されるほどの「事件」として成立しにくい）を構成する際の大きな要因と考えられる。そうして、朝日新聞では、1980年2月26日の特集記事から校内暴力の報道が始まることになる。

都内で起こったいくつかの暴力事件を紹介した、「荒れる15の春なぜどうする校内暴力」と題された特集記事は、校内暴力に関する朝日新聞での初めての特集記事であり、「校内暴力」が見出しとして初めて登場する記事でもあった。記事内に校内暴力の言葉の説明がなされ、この後、学校内における暴力非行は、校内暴力というネーミングの中で語られ、解釈されることになる。一般には、なにか大きな事件〈インパクト〉により、モラルパニックが始まるが、朝日新聞における校内暴力の報道は、こうして比較的静かに始まったとも言えよう。

モラルパニックの視点によりそれ以後の報道を整理すれば、以下のようなになる。まず、1980年2月26日の特集記事、翌々日の「中学生の校内暴力をどうする」という社説が〈警告〉として表れる。先に指摘したように、それまで校内暴力に対しての報道を控えてきた朝日新聞は（1979年中の対教師暴力の報道は3件、しかも2月から3月のいわゆる卒業期に限定されている）、特集記事と社説により、この後、校内暴力を明確な社会問題として取り上げることになる。

5月29日、「集団暴力に教頭が110番五中学生逮捕される 葛飾」とする事件報道が行われた。前年までは単発に処理されていた校内暴力報道は、しかしながら、この事件を第一の〈インパクト〉として、翌日のNews三面鏡による〈点検〉「逮捕された校内暴力中学生「荒れる」本当の原因は」、6月19日には評価されぬ子の反乱を原因と考える、意見・態度レベルでの〈社会的対応〉「特集：なぜ荒れる中学生」が掲載される。さらに、7月2日東京都葛飾区教育委員会の記事「暴力教室追放へ協議」、7月15日の警察庁関係の記事「葛飾・江戸川など抑止特別地域に」などが具体的対処レベル、すなわち社会統制の社会的対応として表れる。また、神経過敏化は、これまではニュースとして取り上げられなかったであろう周辺的な記事の報道として見ることができる。例えば、7月20日の記事「番長ら下級生恐かつ」、10月7日「校内暴力を受けた四人家に帰らず」などがあげられよう。

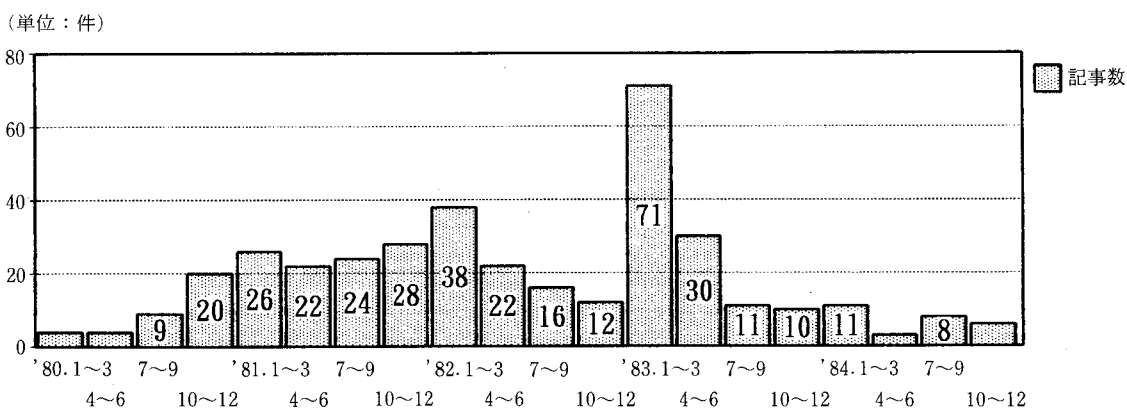
このような一連の報道を新たな〈警告〉として、さらに10月31日、いわゆる尾鷲中学への警官導入事件、「中学生が教師11人を殴る 警官51人が出動」が〈インパクト〉として起こる。引き続き起こる様々な校内暴力事件報道に加え、関係機関の結束を求める11月14日の社説「中学生の暴力に大人の結束を」、11月19日「悪質なら現行犯逮捕」という警視庁の報道、あるいは、11月26日「具体策は先生まかせ」という文部省通達の記事などが、〈社会的対応〉として表れる。さらに、11月26日の事件ダイジェスト風の特集記事「他校ごとでない中学生暴行 事

件続発現地ルポ」をも〈警告〉として、12月3日中野区での籠城騒ぎへと、繰り返されて行く。つまり、いったん、このようなモラルパニックが生じると、校内暴力の中でもニュース性の高い事件を〈インパクト〉として、報道は次々と循環的に続けられていくことになる。

### 3) インパクトとしての忠生中事件

校内暴力の報道は、1980年から始まり、その後81年、82年、83年とその報道はピークを迎えることになる。図3は、1980年から84年にかけての記事数を、3ヵ月ごとに集計したものである。その結果、83年の1月から3月にかけての報道数が71件と、異様に多い事がわかる。すなわち、この時期に、大きなモラルパニックが生じたことが想定できる。

図3. 80年～84年の記事数



それは、1983年2月16日、2日前の校内暴力減少の報道の直後、「暴力生徒を先生が刺す町田の中学校」という、これまでの校内暴力とは全く異なった「忠生中事件」を〈インパクト〉として始まった。この事件は、その4日前に起こった浮浪者殺傷事件とカップリングされ、急激な社会的対応を呼び、大きなモラルパニックが生じた。これまでの報道によって描かれてきた校内暴力の見取り図では対処できない事件として、「学校の荒廃どこまで」という内容の記事が報道される。さらに、「とうとう、そこまで来たか」として始まる社説（2月17日）、同日の「(特集) 子どもが弱者を襲うとき」によってこれらの事件が、弱者への暴力という見取り図によって解釈され、その後多くの〈社会的対応〉、とりわけ、社会統制の〈具体的対処レベルの反応〉が起こることになる。

それらの記事の概要は以下の通り。2月23日「文部省あげて取り組み体制 総理府でも検討会」。2月23日「学校管理の強化も 非行防止連絡会議開く」。2月26日「青少年非行で緊急対策指示 中曽根首相」。「非行対策に全力投入を 首相が指示」。3月4日「環境浄化を推進 生徒指導体制も強める 非行防止で政府5項目」。3月7日「非行対策論議自民内も活発 強い規制強化の声 受験体制反対は少数派」。3月8日「非行グループ解体を(警察庁)」。3月11日「荒れる教室総点検 文部省」。3月17日「国民運動規模で非行対策を推進 自民小委決める」。3月18日「校内暴力 公明姿勢変え日教組批判」。3月19日「自民が非行対策本部設置へ」。3月20日「非行対策で呼びかけ PTA 全国協会」。4月24日「マンモス校解消へ本腰 文部省が実態調査」。5月1日「校内暴力の抜本策を探る 国立教育研」。5月3日「教育臨調を提唱

民社党」。5月8日「小学校落ちこぼれを防げ 個別指導へ手引書 文部省」。5月19日「首相、教育問題で研究会構想」。5月24日「校内暴力に十の提言 自民党文教部会」。7月7日「教育制度見直しや道徳教育の強化を 日経連」。8月2日「道徳教育を強化 文部省」。

これらの社会的対応の多くは、校内暴力を抑止する管理の強化をキーワードとした、管理的手法の導入、すなわち、対処的療法の急激な促進と考えられる。そうして、首相をはじめ、総理府や自民党などの政党、日経連も登場し、校内暴力抑止のための国家規模的諸政策が展開されることになった。まさに、「政治家その他の右翼的な人々が道徳防衛のためのバリケード構築に乗りだし、社会的に信望のある専門家たちが診断を下し、対策を提言し、それへの対処法が創出される」モラルパニックの出現と言えよう。また、8月2日「(解説) 教組の反発必至 道徳教育強化 校内暴力背景に自民攻勢」の記事に見られるように、これらの一連の出来事は、日教組批判など、自民党という政党の〈逸脱の搾取的利用〉と考えることもできよう。

こうした忠生中事件でのモラルパニックの結果、その後、既に指摘したように1984年、85年と、校内暴力に関する報道数は減少し、モラルパニックとしての校内暴力は収束していく。次に、その終焉を「いじめ問題への収束」として、考えてみよう。

#### 4) モラルパニックの終焉

1979年2月15日の三沢君自殺事件で「小暴力(いじめ)」として登場した「いじめ問題」は、その後、81年5月9日のひととき欄「子供の世界で精神的リンチ〈いじめ〉」として登場する程度で、大きく取り上げられることはなかった。しかし、83年9月末から連続4回放送された、NHK番組のいじめ特集への反響を報じた10月13日の家庭欄「子供の世界で広がるいじめ 常識破る陰湿な実態」が掲載される。その後、12月30日「いじめっ子指導に手引書 文部省が来春配布」、84年4月24日「いじめ招く遊び仲間不足 文部省が手引書」、8月15日「いじめっ子 いじめられっ子問題 パネル討論会」、11月12日「大阪の同級生殺人 いじめ一段と陰湿化」などとして取り上げられることになる。そして、12月29日「校内暴力・万引き大幅減 新たな問題いじめ・凶悪化」として位置づけられ、「いじめ問題」が85年以降の報道の中心となっていった。

この「いじめ」と「校内暴力」とのかかわりは次のように展開される。1985年9月27日「いじめられ自殺?」と、いわき市の自殺事件が当初いじめを原因としていたと報道される。しかし、10月1日、その実態に校内暴力があることが指摘された(「いじめ・実態は暴行 殴るのにチェーンも」)。同じような取り上げ方は、11月22日「羽田中、暴力事件も続発 いじめが背景に」として、校内暴力の背景にいじめがあるとする報道にも見られる。すなわち、これらの事例から、校内暴力(生徒間暴力)が、いじめという新たな教育問題の文脈の中でとらえられていくことがわかる。そして、86年2月3日、いじめ問題のモラルパニックを引き起こしたと考えられる中野富士見中自殺事件において、校内暴力が問題となっていたことが指摘されるものの、報道の中心はいじめに焦点化される。こうして校内暴力は、いじめ問題の文脈の中に、いじめ報道の過熱化と校内暴力減少の報道(84年7月17日「校内暴力峠越す 文部省調査」、8月31日「少年非行減少の兆し 校内暴力は3割減」と共に収束されていったと考えられよう。もともと、小・中学校におけるいじめとして登場したいじめ問題は、その文脈を拡大し、校内暴力(生徒間暴力)をその中に収束していったのである。(ちなみに、80年9月27日に起こった同じような生徒間暴力による自殺事件は、81年5月20日「校内暴力 わが子奪った 自

殺中学生の親が賠償訴訟」として校内暴力の文脈の中で報道されている。) )

#### 4. モラルパニックの問題

以上、校内暴力報道をモラルパニック論の視点から検討してきた。その結果、忠生中事件を典型として、校内暴力はまさにモラルパニックの一例と考えられることがわかる。その詳細な分析は今後の課題として残されているが、その中から、いくつかの予想される問題点を指摘しておこう。

第一に、過剰な報道による問題がある。一般にマスコミには、感染効果があるとされているが、校内暴力報道においても、過剰な報道が新たな問題を作り出すと考えることができる。ちなみに、当時の報道姿勢への疑問は、81年4月24日、5月18日、8月29日、10月16日の声欄における、「過剰な報道は校内暴力を助長するのでは」といった投書にみられる。また忠生中事件のさなか、83年3月9日の紙面批評には「大げさな報道は禁物 中学生暴力誘発の契機にも」という記事が掲載され、つっぱり生徒の間では新聞に載るぐらいのデカイことをするのが勲章といった当時の風評について述べられている。

マスコミ報道の影響を実証することは、その性質から非常に困難であることはよく知られている。しかし、私たちの経験的感覚からはその影響力がかなり強いことが想定できる。例えば、1986年に起こったアイドル歌手飛び降り自殺事件報道の影響による、似たような自殺事件の増加が実証事例として報告されている。<sup>(6)</sup>

第二に、過剰な報道による「今の学校は校内暴力で荒れている」という日常的意識形成の問題がある。例えば81年1月に掲載された声欄では「最近よく聞く」、「今問題になっている」、「最近叫ばれている」など、人々がマスコミ報道から校内暴力の事態を推測していることが分かる。そして、81年3月28日の記事「校内暴力、子供の声続々」では、校内暴力はすでに「大きな社会問題となっている」と語られている。しかしながら、81年7月16日の声欄「さわやかな中学生」、82年2月5日の声欄「ほとんどは着実に成長」などの投書は、校内暴力がすべての学校をおおっていると見る見方に疑問を投げかけている。

しかし、一度形成されたこのような日常的意識は、その後のさまざまな場面を規定することになる。徳岡は「予言の自己成就過程」について言及しているが、まさに、その後校内暴力に直面する教師と生徒に、このような日常的意識は、その生起に大きな影響力を持ち得たと考えられる。<sup>(7)</sup>

第三に、忠生中事件を契機として、校内暴力をとにかく抑止しようとした、性急な解決にかかわる問題があげられる。校内暴力が問題となった当初は、その言説にも「評価されぬ子の反乱」(80年6月19日)、「教師側にも問題」(81年8月6日)など、さまざまな角度からの原因論が展開されていた。さらに、「農業実習の試み」(81年8月18日)、「カギは教師のやる気」「豊かな心育成」(82年1月5日)、「手打ちうどんクラブや大根作りで成果」(82年5月8日)など、現実に様々な解決への試みがなされていた。ところが、忠生中事件の後には、生徒指導の強化など、校内暴力抑制のための対処療法的措置に埋め尽くされていく。これは、長期的に判断すれば、モラルパニックが学校教育にもたらした、悪循環の病理と考えることもできる。<sup>(8)</sup> ただし、この問題は今後、その政策的な部分(逸脱の搾取的利用)や教育言説の表れ方などを含め、詳細な分析が必要であると考えられる。

第四に、「残されたままの問題状況」をあげることができる。すなわち、校内暴力の報道が下火になって以後、86年9月4日、89年10月31日、90年12月7日、91年12月26日、92年12月23日と、それぞれ「校内暴力増加の報道」がなされたが、それがその後問題として取り上げられることはなかった。そして、そのことに人々が違和感を持つこともなかった。つまり、モラルパニックの終焉により、その実態とは別に「問題は収束したような印象」が、私たちにもたらされたのである。

校内暴力の収束としての「いじめ」とのかかわりに表れたように、校内暴力、いじめ、体罰、登校拒否・不登校といった問題は、それぞれが誘因として断続的に生じてきたのではなく、すでに学校教育の問題として相互関連的に存在し、それぞれの発生率の変動はあるものの、まさに、マスメディアにどのように取り扱われるかによって、大きく問題化したものと考えられる。したがって、「校内暴力の抑止がいじめを誘発した」、あるいは、「校内暴力と入れ替わるように、教師の体罰が増え、体罰に押さえ込まれた子どもたちの暴力がいじめに向けられた」<sup>(9)</sup> といった解釈には、慎重な姿勢が必要であると言える。1960年から70年80年と言った、大きな時代的変動が学校教育にもたらした影響の考察と、学校に本質的に潜む問題として、これらのいわゆる教育問題を考察する必要があると指摘できよう。

(なお、巻末に検索結果を資料として全文掲載する。かなり大量の情報だが、これまで、校内暴力に関するこのような資料はなく、その意味で、基礎的資料としての価値があると思われる。)

## 注

- (1) 拙稿「校内暴力生起に関する逸脱論的考察」片岡徳雄編『現代学校教育の社会学』福村出版、1994年、において校内暴力に関する論稿の検討を行った。
- (2) 拙稿「校内暴力生起に関する逸脱論的考察(2)」『愛媛大学教育実践研究指導センター紀要』第12号、1994年。
- (3) 徳岡秀雄『社会病理の分析視角』東京大学出版会、1987年。及び Stanley Choen., *Folk Devils and Moral Panics*, ST. Martin's Press, 1972.
- (4) 徳岡秀雄、同上書、228頁。
- (5) 徳岡秀雄、同上書、230-240頁。なお、最近のモラルパニック論の動向については、Erich Goode & Nachman Ben-Yehuda., *Moral Panics-The Social Construction of Deviance*, Blackwell, 1994. が参考になる。
- (6) 鮎川潤「少年非行とマスメディア」中村洋一編『犯罪とメディア文化』有斐閣、1988年、98-103頁。米里誠司「最近10年間の少年の自殺と家出の傾向」『日本教育社会学会第46回大会発表要旨集録』1994年、122-123頁。なお、鮎川は校内暴力に関して以下のように述べている。「これと同様のことが、かって盛んであった校内暴力等に関しても起こっていたのではないかと類推することができる。それが頻繁に報道されていた当時、新聞社の社会部とテレビ局の報道部に勤める筆者の友人はそれぞれ、「これから先生をやっつけるので取材に来てほしい」という依頼を受けたことがあると話している」(同103頁)。
- (7) 同様の指摘は、北沢毅「問題行動の社会的構成」『教育社会学研究』第40集、1985年、145頁、にも紹介されている。
- (8) 長谷正人『悪循環の現象学』ハーベスト社、1991年、には、問題行動を治そうとする努力(偽解決)がさらに問題行動を生み出すメカニズムが紹介されている。
- (9) 朝日新聞、1994年10月7日記事「(家庭欄)ある体罰訴訟」。このような解釈は、現在、教育問題を語る最も有力な解釈として流布している。例えば徳岡秀雄「青少年問題と教育病理」『教育社会学研究』第50集、1992年、154頁。しかし、そのような図式的な解釈に対する疑問は、西原和久『社会学的思考を読む』人間の科学社、1994年、158頁、にも述べられている。



資料：

朝日新聞にみる「校内暴力」の報道 1970年～1992年

〔 〕内記事は関連記事，声欄検索は1979年～1984年。またアンダーラインは、本論に取り上げた校内暴力記事，一はその他の記事を意味する。）

70. 02. 27 “あんな中学校はイヤ” ガラが悪いし進学率も低い…入学予定数が半減 荒川六中
70. 09. 20 教室で集団乱暴 中学生9人 北九州市  
(記事数 2件)
71. 04. 01 [(今日の問題) シンナー遊び]
71. 07. 11 [“学校ギライ” 中高生ふえる 頭痛や腹痛起こす 東北大講師の報告]
71. 08. 04 [こづかいかせぎにおどし・乱暴 あきれた非行女高生グループ<東京>]
71. 12. 21 [“危険な年代” 下がる一方 46年の補導状況]  
(記事数 0件)
72. 02. 13 [中高生ら225人を補導 神奈川]
72. 08. 07 [少年の非行はしつめの欠陥 国政モニターの意見]
72. 11. 19 [深まる師弟の断絶 中・高教育の実態 文部省の調査 悩み教師に相談一2% 満足10%だけ]
72. 12. 26 [少年犯罪白書“遊び型”が目立つ 刑法犯の7割は小・中・高生]  
(記事数 0件)
73. 03. 01 [“女番長ら51人を補導 中央沿線のグループ”]
73. 06. 30 [国士館学生暴力事件 国士館高校生ら他高生に乱暴恐喝]  
(記事数 0件)
74. 02. 12 先生“暴力高校”を見限る 集団で転任希望 同僚が退学生に殴られ奄美大島
74. 12. 04 [中学生に万引き流行? 警視庁が調査]
74. 12. 19 (論壇) 増える非行高校生 単純に喜べぬ“進学率90%以上”  
(記事数 2件)
75. 03. 06 [スケバン非行が急増 男子しりめに集団暴行やリンチ]
75. 11. 13 非行を注意され職員室に爆弾 沖縄で中学生
75. 11. 18 校内で恐喝暴行 中学生23人を補導 福生
75. 12. 09 入れ墨，教室でビール 番長グループ424人補導
75. 12. 26 ふえる暴力教室「性」への傾斜も強まる ことしの少年非行  
(記事数 4件)
76. 05. 10 [警視庁に少年課新設 犯罪防止に本腰]
76. 07. 04 (連載) いま学校で 中学生 病む「暴力」  
(暴力のテーマで4回連載)
76. 12. 24 [女生徒に性の乱れ拡大 警察庁来年度の重点課題に 非行白書]  
(記事数 2件)
77. 04. 26 [(社説)「落ちこぼれ」をなくすために]
77. 08. 03 (論壇) 非行少年が増えている 学校や教師の指導にも混乱  
(記事数 1件)
78. 02. 02 悩む教師 教研集会から 暴力教室 荒廃ひどい職業高校 自校に誇り持てぬ生徒一息学・非行へ
78. 02. 13 [二中学生，夜明けの仕返し 同学年三人殺傷 滋賀県野洲町]
78. 03. 31 (論壇) 非行生徒の効果的な指導 教師は結集して毅然たる態度を
78. 08. 30 授業中教師を殴る 同級生にリンチも 三年生ら39人補導 川崎の中学  
(記事内に校内暴力の文字)
- (毎日新聞)
78. 10. 21 暴力生徒に無抵抗中学 喫煙注意 殴られケガ 愛のムチより我慢
78. 10. 21 中野七中，生徒が大荒れ「暴力」報道先生らに詰め寄る<夕刊>
78. 10. 22 「先生，しっかりして！」暴力騒ぎの中野七中 生徒有志が決議
78. 10. 23 中野七中 子供の暴力，親は知らず 家庭への連絡怠る
78. 10. 24 中野七中 の正常化急げ 区議会も立ち上がる
78. 10. 30 (事件記者取材帳) 一応は“落着”中野七中事件 生徒と教師が反省
78. 11. 02 (記者の目) 先生は無抵抗でいるな 毅然たる態度必要 多発する中学の校内暴力事件
78. 11. 20 どう考える一生徒が先生を殴った 事件の都内区立中でアンケート
78. 11. 30 (教育の目) 相次ぐ教師への暴行事件 荒廃した教育現場
78. 12. 26 [少年非行戦後第三のピーク 女子増え五人に一人]  
(記事数 3件)
79. 01. 20 [中二，自宅で首つり 寂しき切々班ノート 千住(三沢貴史君)]
79. 01. 22 [子どもの自殺また続出「なぜ」親ぼう然]
79. 01. 23 中学生，校内で友人刺殺 裏目に出た規律の生徒管理 服装を注意され怒る 兵庫
79. 01. 28 [ここにも高校の荒廃 二人に一人退学・落第 教研集会報告]
79. 02. 10 先生を殴る，ける 小平四中・生徒が集団暴行 16人を検挙・補導
79. 02. 15 [陰湿，じわじわと“小暴力” 貴史君自殺の背景「いじめ，しかと，さわる」<東京>]
79. 02. 17 (声) 教育の荒廃は一体どこから  
(57歳コンサルタント)
79. 03. 10 注意され先生切る 中学2年生が授業中 静岡県袋井市
79. 03. 12 先生に集団暴行 中学生十六人を逮捕 浦田
79. 04. 11 [「荒武者」名乗り抗争 少年68人を送検，補導 江戸川・葛飾]
79. 06. 14 高校生の自殺・暴力対策に専任カウンセラー 教育長協の研究班報告
79. 06. 15 [とんだ「自由な校風」寮で酒盛り・暴行 高校生6人逮捕指導員ら黙認 横浜の山手学院]
79. 07. 14 (社説) 少年非行第三のピーク
79. 09. 10 [中1少年，飛び降り「学校でいじめられる」 上福岡のマンション]
79. 10. 30 (声) 学校内暴力は親にも責任が  
(18歳新聞配達一いじめによる自殺に関して)
79. 11. 23 (声) 体罰肯定論に懸念 (26歳無職)
79. 12. 26 少年非行悪化の一途 めだつ低年齢化 教師への乱暴も激増

- (記事数 7件, 声欄 3件)
80. 01. 29 [(社説) 日常的な学習の場の確立へ]
80. 02. 26★ (特集) 荒れる15の春なぜ どうする校内暴力  
ついに校内で逮捕者 警察ざたは氷山の一角  
困り果て体力派教師登場<東京>  
※初めての特集記事, 「校内暴力」という言葉  
の解説がなされている
80. 02. 27 (声) 少年の非行に甘やかし禁物  
(63歳幼稚園長)
80. 02. 28 (社説) 中学生の校内暴力をどうする
80. 03. 16 「暴力振るいそうな六人」生徒名入りビラ配る  
長瀬で中学教師
80. 03. 22 教師受難? の卒業期 校内暴力また増える 警  
視庁調べ
80. 05. 11 (声) みんなで考えよう中学生暴力の防止  
(39歳主婦)
80. 05. 29 集団暴力に教頭が110番 五中学生逮捕される  
葛飾 注意の六教師を殴打
80. 05. 31 (News) 三面鏡) 逮捕された校内暴力中学生  
一校での指導もう限界 学校 取り調べ歴は最  
高5回 「荒れる」本当の原因は?
80. 06. 11 [(社説) 少年問題としての暴走族]
80. 06. 19 (特集) なぜ荒れる中学生 校内暴力 都内,  
昨年の発生上回る 単純な動機で反発 教師受  
難も「日常化」評価されぬ子の反乱 甘えの表  
現に幼さ
80. 06. 27 (声) 成果上がった一対一の教育 (45歳教員)
80. 07. 02 暴力教室追放へ協議(東京都葛飾区教育委員会)
80. 07. 08 放火 暴行 破壊 校内暴力やまず 八王子市  
立中 生徒18人を書類送致
80. 07. 15 葛飾・江戸川などの抑止特別地域に 校内暴力  
で警視庁
80. 07. 18 (論壇) 校長よ「大番長」になれきれい事では  
解決せぬ校内暴力
80. 07. 20 番長ら下級生恐かつ 二万円奪い遊びに使う  
荒川
80. 07. 21 (News 三面鏡) 校内暴力, 生徒の告白「先生  
に殴られ犯行」強いおとなへの不自信
80. 07. 29 (声) 大人は勇気を出してしかれ (56歳元教員)
80. 08. 07 校内暴力も集団化 東京都内警視庁調べ 先生  
を殴る中学生
80. 08. 21 少年非行 粗暴・凶悪に 中学生暴力, 増加の  
一途
80. 08. 25 (声) 個人の才能認め引き出す教育を  
(21歳学生)
80. 09. 20 女高中生集団リンチ 都立五商「お前, 目立ちず  
ぎる」
80. 09. 23 [体育教師が集団暴力 学園最後生徒囲み殴る  
/三生徒の鼓膜破る 体育授業で平手打ち]
80. 09. 27 [中一の子の自殺原因, 親が調査 同級生に脅  
され殴られ「金策」に困って 大阪]
80. 10. 07 校内暴力を受け四人, 家に帰らず
80. 10. 08 集団暴力を受けた女生徒が見つかる 平塚
80. 10. 09 逮捕生んだ「特別学級」板橋の中学「授業妨害  
組」が対象 生徒反対でトラブル 先生殴られ  
警察を呼ぶ
80. 10. 11 先生をバットで殴る 注意された中学生10人  
相模腹
80. 10. 12 (News 三面鏡) ふえる女生徒の暴力事件 特  
有のしつと・残念さ むずかしい学校の対応
80. 10. 31 中学生が教師11人を殴る 警官51人が出動 学  
校側と事前に合意[尾鷲中学]
80. 11. 03 (声) 子供のしつけ今こそ真剣に (58歳主婦)
80. 11. 13 中学生の三人逮捕 先生六人袋だたき
80. 11. 14 (社説) 中学生の暴力に大人の結束を
80. 11. 14 「教師の暴力」訴える 髪も切られたと, 賠  
償請求 都内の私立高]
80. 11. 19 校内暴力に強い姿勢 警視庁 悪質なら現行犯  
逮捕
80. 11. 21 校内暴力で3人を逮捕 横須賀の中学
80. 11. 22 (声) 生徒の暴力に「愛のむちを」(65歳無職)
80. 11. 22 また女高中生集団暴行 都立一商 下級生をなぐ  
る, ける
80. 11. 24 三度目の校内暴力 先生殴った三人調べる 川  
崎の中学
80. 11. 26 具体策は先生任せ 校内暴力で文部省通達
80. 11. 26 (特集) 「他人ごと」でない中学生暴行 事件  
続発現地ルポ 教師殴打など20数件 地域ぐる  
みで対策探る 神奈川・南足柄の岡本中 三  
重・尾鷲の尾鷲中 横須賀の武山中
80. 11. 30 (声) 甘えのすりかえつつ張りの論理  
(48歳中学教諭)
80. 12. 01 (声) 非行に走る青少年受験戦争の被害者  
(15歳高校生)
80. 12. 02 (声) 責任ある行動を大人から示そう  
(28歳主婦)
80. 12. 03 (声) 校内暴力を生むけ落とし論理 (21歳学生)
80. 12. 03 中3が教師に乱暴 8人「ろう城」騒ぎ 中野  
区
80. 12. 07 (社説) 自民党は節度ある教育論議を
80. 12. 08 (声) 生きがいをを見つけ打ち込む中学生に  
(19歳浪人生)
80. 12. 09 (声) 人間教育まず大切その上で学力です  
(40歳主婦)
80. 12. 10 校内暴力に名案なし 異例の文部省議 調査だ  
け決める
80. 12. 13 (声) 校内暴力の改善は教師・生徒の交流で  
(29歳教師)
80. 12. 16 (声) 悪質なマンガ規制できぬか (21歳学生)
80. 12. 16 (社説) 若者は育ちたがっている
80. 12. 18 (声) 同じ中学生ゆえに思う (15歳中学生)
80. 12. 18 授業中に先生殴る 横浜 中三の二人を補導
80. 12. 26 (特集) 吹き荒れる中学生暴力「武器」を持ち  
凶暴・集団化 女生徒のリンチ急増 のし歩く  
番長グループ 対応策は一般論だけ 頭かかえ  
る学校・警察
80. 12. 27 (声) こんな社会で子羊は育つか (28歳学生)  
/子どもたちに五つの喜びを (66歳無職) /母親  
はもっと家庭を明るく (34歳主婦)
80. 12. 29 (声) 素直な人間育たぬ「テスト第一主義」  
(20歳学生)
80. 12. 30 (声) 教育の荒廃を憂えて三提案 (51歳教員)  
(記事数 37件, 声欄 19件)
81. 01. 05 (声) 「教育元年」とする意気込みを持って  
(27歳大学院生)
81. 01. 05 (声) 個性豊かな人間を育てる教育目ざせ  
(23歳学生)
81. 01. 09 (論壇) 親自身にも「しつけ」必要 学校に頼  
らず, その場で指導を
81. 01. 14 (声) テスト万能に校内暴力の芽 (17歳高校生)
81. 01. 14 (声) 非行防止には謙虚な対応を (52歳教員)
81. 01. 15 (論壇) 暴力教室の防止は可能「心のもやしっ

教育問題の社会学的考察

- 子」をなくす教育を
81. 01. 17 青少年の暴力事件対応策を緊急諮問 指導など  
政策化 政府
81. 01. 17 (社説) 教師は問われつづける
81. 01. 17 (論壇) 校内暴力の底にあるもの 子らの心つかめぬ大人の生き方
81. 01. 19 (声) しばるのではなく生徒に納得させて  
(17歳高校生)
81. 01. 21 青少年の非行対応策を諮問 審議会に政府
81. 01. 22 校内暴力 警察庁が初の対策会議 卒業期控えて本腰 少年非行 昨年は各部門で最悪
81. 01. 23 (論壇) 子育てに四つの落とし穴 暴力・落ちこぼれの原因 家庭にも
81. 01. 24 (声) 個性を伸ばす学校教育必要 (21歳学生)
81. 01. 24 (声) 心から話せる先生がほしい (15歳高校生)
81. 01. 27 教師への暴力未然防止通達 卒業期に警察庁
81. 01. 28 (紙面批評) 校内暴力の「核心」えぐれ コマぎれの建前論ではダメだ
81. 01. 29 (声) 教師の姿勢問われる時 (18歳高校生)
81. 01. 29 (声) 先生は信頼される努力をして欲しい  
(18歳高校生)
81. 01. 31 (声) 信頼に足る教師めざす (22歳学生)
81. 02. 08 (声) 特集 (校内暴力に思う)  
信頼させる先生であれ (18歳高校生) / 自分の責任は自分でとろう (19歳学生) / 教育の原点は家庭のしつけ (塾教師26歳) / 生徒汚染する金権優先風潮 (49歳高校教員) / 少年非行の原因は大人が作っている (20歳学生) / なにもかも社会に責任おしつけるな (18歳予備校生) / ゆとりの時間活用し教師と生徒の交流を (38歳主婦) / 生徒の疑問に答えを (28歳短大講師)
81. 02. 13 自民も対策協議へ 校内暴力問題
81. 02. 13 (声) 学校暴力・非行その根は深い (47歳無職)
81. 02. 14 [(社説) 一五の冬の中の子と親に]
81. 02. 20 もっと警察力活用を 校内暴力 公安委員長が答弁 衆院予算委
81. 02. 21 都青少年非行問題対策委が初会合 座長に福田明学大教授 (東京)
81. 02. 21 [非行息子に鎖かけ二晩[世間に迷惑かけまい]名古屋 父親、軒下につなぐ]
81. 02. 21 教室でビール…乱暴 葛飾 中学二年二人を逮捕
81. 02. 22 (社説) 親の責任を迫りすぎずむか
81. 02. 22 (声) 教育の病巣見つけよう (31歳主婦)
81. 02. 23 (声) “落ちこぼれ” 救う先生の熱意はしい  
(18歳高校生)
81. 02. 26 区あげて非行防止策 中学校区ごとに地域連絡会 品川 (東京)
81. 03. 01 (教育のひろば) 子どもの暴力 教育の仕組み変え時代に合う指導を
81. 03. 02 (声) 校内暴力の解決はお互いの反省から  
(18歳高校生)
81. 03. 09 (声) 校内暴力の原因は大人の身勝手さに  
(20歳学生)
81. 03. 10 「地域ぐるみ教育」暴走 仙台の中学校 住民、生徒に体罰 校内巡回、ポケット検査
81. 03. 14 (連載) いま学校で 校内暴力  
※連載開始、81. 10. 12まで78回連載
81. 03. 14 生徒になぐられ 先生大けが やっぱり川崎の中学
81. 03. 17 中三、授業中に花札 注意した先生を足げ 板橋
- 橋
81. 03. 18 [非行対策にセンター 都教組、主任手当きょ出一億円で計画 (東京)]
81. 03. 18 [不良グループに仕返し 乱闘寸前、中3の19人補導]
81. 03. 18 「力」借りて卒業式平穏 警官“臨席” 200校が要請
81. 03. 20 (声) 特集 (校内暴力に思う 続)  
甘えず自分に厳しく生きて (18歳高校生) / 暴力軽視せず怒りと挑戦を (19歳学生) / 建前と教条に現場の苦しみ (53歳高校教員) / 共通の心欠く痛みから出発 (30歳教員) / 校則で縛るよりも信頼感が (19歳学生) / 先生の心写す生徒愛と魂でぶつかれ (66歳元大学教授) / 家庭と社会一体で非行の温床探ろう (48歳農業) / 大切なのはしつけ (63歳元中学校長)
81. 03. 20 [女生徒含め77人送検 リンチ・万引きグループ 上尾/“殴り込み” 寸前の中学生23人を補導 立川]
81. 03. 20 戒厳下 ホタルの光 中学卒業式 警官1200人を動員 地域有志もパトロール 門外で後輩がウイスキー贈る
81. 03. 22 (社説) いま中学生にとっての卒業式
81. 03. 24 (声) “ツッパリ派”をも温かく包んだ先生  
(18歳学生)
81. 03. 27 殴られた先生はなかったが…230校で“戒厳令”卒業式警察庁調査
81. 03. 28 (News 三面鏡) 校内暴力、子供の声続々 先生不信き彫り「対話ない」と電話で告発
81. 03. 29 (教育のひろば) “愛情給食”で非行追放 福岡県池尻中 先生と親が体当たり 食後は共に遊び対話の芽つかむ
81. 03. 29 [40中学で番長連合 警視庁が実態解明 都内・川崎に会員500 暴力団も顔負け任侠訓も]
81. 03. 30 (声) 反乱する生徒に甘えはないのか  
(19歳学生)
81. 04. 02 [(今日の問題) 愛のムチ]
81. 04. 04 (声) 教育大改革に力合わせよう  
(76歳元高校教員)
81. 04. 04 (声) 教師は燃えて不信の根断て (65歳元教員)
81. 04. 05 (声) 先輩教師から自戒を込めて (44歳教員)
81. 04. 06 (声) 先生不信つらさ安易な警察力導入  
(15歳高校生)
81. 04. 09 (声) 生徒との信頼感が体罰の前提に必要  
(50歳公務員)
81. 04. 09 (特集) 体罰 非行と取り組んだ二教師の意見
81. 04. 18 (論壇) 教師も謙虚に反省せよ 校内暴力の加害者の痛み どこに
81. 04. 19 (声) 落ちこぼれ変身に骨身削った二先生  
(48歳会社役員)
81. 04. 24 (声) 校内暴力報道に疑問 (20歳学生)
81. 04. 30 教師・学校側にも責任 文部省が校内暴力で「事例集」まずい指導・協力不足
81. 04. 30 (声) 落ちこぼしが荒廃の第一歩 (49歳主婦)
81. 05. 01 (声) 子に甘い風潮責任問わず (20歳学生)
81. 05. 04 (声) 自由だけを強調責任忘れた社会  
(18歳学生)
81. 05. 05 [(社説) いま親であることの責任]
81. 05. 05 (家庭) なぜ非行少年 少年へ(先輩から) 大人へ (元判事から)
81. 05. 09 [(ひととき) 子供の世界で精神的リンチ くい

- じめ〕  
 81. 05. 11 (声) 校内暴力への対処生徒自身も真剣に (20歳学生)
81. 05. 15 [(家庭) がんばれ いじめられっ子「個性」と認め伸ばそう 大人の対応で変わるもの]
81. 05. 18 (声) 校内暴力や非行に騒ぎ過ぎは逆効果 (14歳中学生)
81. 05. 20 校内暴力 わが子奪った 自殺中学生の親が賠償訴訟 相手両親12人に責任 学校・市の指導も問う 大阪・高石市
81. 05. 21 (今日の問題) 学校不信
81. 05. 22 生徒、教室内で暴力 八王子の中学校 先生二人が重軽傷
81. 05. 23 けじめなき親は少年非行の温床 (77歳保護司)
81. 05. 23 [(社説) 数字で教育の現状は語れない]
81. 05. 28 先生殴り教室荒す 葛飾 中学で校内暴力七件
81. 05. 29 [(声) 実態無視の教育白書 (58歳無職)]
81. 05. 29 校内暴力は警察まかせ 葛飾の区立中学校 被害届、すぐに提出 職員会議で申し合わせ 校舍被害父母に賠償請求 教師側の逃げ・甘えだ「ひきょう」と子はとらぬか 被害届け出さぬ努力こそ必要
81. 05. 29 先生また殴られる 被害届申し合わせの小松中
81. 06. 02 ストップ校内暴力 小松中 PTA 総会 地域ぐるみ連携めざす
81. 06. 02 [(今日の問題) 熱中先生]
81. 06. 04 (声) 校内暴力の退治机上論ではダメ (57歳学習塾教師)
81. 06. 04 校内暴力で3人逮捕 板橋の中学校 学校、警察に即刻通報
81. 06. 09 校内暴力やめぬ9人を家裁送致 小松中が「被害届」
81. 06. 09 (文化) 少年たちの内なる荒野 世相うつす校内暴力「面白がり」の残酷さ真剣さで接するだけ
81. 06. 10 (声) 暴力校返上に目ざめた生徒 (38歳中学教員)
81. 06. 10 生徒の服装を点検 小松中校門で父母たち
81. 06. 12 「小松中」問題を区議会でも質疑 葛飾(東京)
81. 06. 12 新設中で校内暴力 生徒が教師の失言怒る 東京
81. 06. 24 (解説) 強まる校内暴力 広がる学警連携「内々処理」から転換 凶暴化して手におえず
81. 06. 24 (声) 中学の非行防止にカウンセラー室を (30歳主婦)
81. 06. 29 校内暴力「家庭に責任」過半数 5割が警察導入容認 本社全国世論調査
81. 06. 29 (特集)「校内暴力」甘い親の認識 本社世論調査「いま学校で」取材班の分析/原因と責任 「よそ事」視が大半 関心は深いが浅い理解/警察の導入「家庭に原因派」は容認 根底を問う人は否定派
81. 06. 29 (声) 人の立場考えず意見いうのは簡単 (15歳高校生)
81. 07. 01 父母・教師が全力を 校内暴力へ異例の提言 青少年問題審 行政で解決は無理 青少年に自立心訴え
81. 07. 02 (社説) 背景への目を欠く非行対策
81. 07. 03 [(今日の問題) 体罰]
81. 07. 03 (声) 暴力を育てるスパルタ教育 (45歳塾講師)
81. 07. 03 (声) 非行、暴力は親の甘さから (59歳会社員)
81. 07. 04 中学生暴力、休校騒ぎ 北海道浜中町 先生12人が被害届
81. 07. 05 (天声人語) (先生を殴りたいと思う生徒多い)
81. 07. 05 [女子高生23人が乱闘 雑木林に相手呼び出し福岡]
81. 07. 06 (声) 生徒になめられぬ強い意志の先生に (14歳中学生)
81. 07. 09 (声) 善悪のけじめ教えるのは親 (44歳会社員)
81. 07. 09 [番長カンパは強盗 警視庁 中三の二人を逮捕]
81. 07. 10 先生囲み殴るける 座間の中学校 乱暴注意され「逆襲」
81. 07. 13 (声) 生徒のため思う熱意を教師は示せ (15歳高校生)
81. 07. 14 地域ぐるみ指導へ 校内暴力続発で葛飾区教委親・学校が考える集い(東京)
81. 07. 15 (社説) 非行への暴走を防げ
81. 07. 15 [暴力団 若い組員の4割が暴走族と番長出身 警視庁が突態調査 半数が「やめたい」]
81. 07. 16 (声) さわやかな中学生 (36歳会社員)
81. 07. 17 [番長の乱暴親も責任「生活指導怠った」被害者に賠償命ず 東京地裁判決]
81. 07. 18 深刻、都内の暴力教室 半年で昨年分発生 特定で多発 厳罰に抵抗、悪循環
81. 07. 18 “戒厳下” また暴力 葛飾・小松中 五人組、級友なぐる
81. 07. 19 暴力生徒三人逮捕 葛飾の小松中
81. 07. 23 さらに二生徒逮捕 小松中の同級生乱暴
81. 07. 24 (声) 中学生の教育に自信と勇気持て (40歳主婦)
81. 07. 27 「私も非行少年だった」本田署母親大会 会社経営者が訴え(東京)
81. 07. 28 (声) 先生も言葉の暴力使わぬと約束して (16歳高校生)
81. 07. 31 少年非行 最悪ペース 今年上半期 弱者への凶行目立つ 校内暴力昨年同期の倍
81. 08. 04 45万円脅し取る「カンパ」と同級生から 小松中3年生
81. 08. 06 校内暴力「教師側にも問題」今後の発生六割が心配 中学校長会が初の全国調査
81. 08. 06 [(News 三面鏡) 体罰担任持ち上がりはご免 花見堂小学校 父母ら拒否決議 ムチ打ち足ばらい、再三の抗議の無視]
81. 08. 08 (声) 教師の偽善的態度 校内暴力の一因に (22歳学生)
81. 08. 18 小中校で農業実習 来年度から文部省方針 校内暴力対策に 休耕田で汗流せ 勤労働員連想効果不明の声
81. 08. 21 時には暴力で抑止を 校内暴力に緊急提言 都の対策委
81. 08. 24 先生の被害倍増 上半期の校内暴力 陰湿化し 計画的に 中学生が「主役」占める 高校生事件は減少
81. 08. 27 (社説) その場しのぎ通じぬ校内暴力
81. 08. 28 非行防止 助っ人に警察OB 警察庁計画 各所に補助員配置
81. 08. 29 (声) 逆効果が心配な校内暴力の記事 (16歳学生)
81. 08. 31 (天声人語) (2学期に校内暴力が集中する)
81. 09. 01 (声) 人生の目的を教えてあげて (20歳学生)
81. 09. 01 (声) 聞いてほしい子供らの叫び

教育問題の社会的考察

- (58歳高校教員)
81. 09. 01 (声) 校内暴力には厳しい態度で
- (41歳高校教員)
81. 09. 02 (文化) 問い直される父親なき社会 子らの暴力頻出の中で 進む母親との“同一化” 男性的役割果たす必要
81. 09. 19 中三、先生を殴る 教務主任 骨折の重症 千葉
81. 09. 22 [非行小・中学生に“背番号” 広島県教委 マル秘リスト作成 窃盗・暴力…校長・教頭が記入]
81. 09. 25 [非行背番号やめる 広島県教委]
81. 09. 26 先生の車 マイトで爆破「学校に行かせない」中3、注意され“腹いせ暴走” 宮崎
81. 09. 26 包丁持ち職員室へ 授業さぼり帰された後 青梅
81. 09. 27 [事前に“問題児リスト” 名古屋市教委 無口や継母も対象 38年から 批判うけ実名削除]
81. 09. 29 教師宅に鉄パイプ 二中学生殴り込む
81. 10. 02 母親で先生刺す 高槻 服装注意された15歳
81. 10. 13 (声) 朝会で後輩に詫びた勇氣ある中3がいた (55歳中学校長)
81. 10. 13 (声) 過去のレッテルで私の学校見ないで (15歳中学生)
81. 10. 14 (声) 非行犯した生徒を色メガネで見るな (22歳学生)
81. 10. 16 (声) 非行報道は配慮が必要 (57歳農林業)
81. 10. 16 件数、15年間の最高 昨年の犯罪白書 少年非行、半数に迫る
81. 10. 17 [野外教室変じ暴力教室 中学生ら5人補導 下級生殴るける 日本テレビ主催]
81. 10. 18 (社説) 怖い少年非行増加の兆し
81. 10. 19 [(天声人語) (少年非行に関する本売れる)]
81. 10. 23 乱暴中三トリオ逮捕 同級生に暴力
81. 10. 26 荒れる13歳 東京都内 粗暴犯は三倍增“悪” エスカレート
81. 10. 29 [(天声人語) (ツッパリ猫)]
81. 10. 30 中学生に殺人未遂適用 江戸川区 牛刀で先生襲い逮捕
81. 10. 31 (連載) いま学校で 校内暴力を追う ※連載の新シリーズ, 82. 03. 02まで66回連載
81. 11. 01 少年非行, 欧米も深刻 実態と対策, 総理府調査
81. 11. 01 (声) 文化クラブ充実し非行防止の一助に (42歳主婦)
81. 11. 01 (声) 小さな善行や勇氣大きく取りあげて (50歳主婦)
81. 11. 01 (文化) 青少年の暴力を考える 学校保健学会で公開討論 弱い子の大人への信号 対決恐れず話し合いを
81. 11. 04 子どもの暴力は家庭の甘やかashi もっと対話が必要 校内事件 警察依存やむを得ぬ 国政モニター調査
81. 11. 04 「殺意はなかった」牛刀振り回し「殺人未遂」の中学生 弁護士, 東京高裁に抗告
81. 11. 04 教師に乱暴, 三人逮捕 横須賀の中学 学校側から被害届
81. 11. 11 先生2人襲う 中3の4人逮捕 (東京都東久留米市)
81. 11. 12 (家庭) 子供が見えなくなったのは、なぜ 詩人・野田寿子さんの教育現場からの報告 燃え
- あぐねているエネルギー 受験や管理が強化される中で
81. 11. 13 中3に殴られ脳内出血 先生が開頭手術 品川
81. 11. 13 少年非行対策委 本格的な活動へ 警察庁で初会合
81. 11. 14 [教員インターン制提唱 自民小委改革案 免許に期限を設定 更新時, 研修義務づけ]
81. 11. 15 少年非行防ぐには処罰より人間信頼 (41歳全寮制私塾長)
81. 11. 18 校内暴力はほぼ倍増 番長組織, 3校に1校 警視庁が実態調査 他校と連合進む 暴走族予備軍にも 公立中学校
81. 11. 20 [番長の勢力, 三校で争う 殴り合い二人けが 川崎 中学生二十四人補導]
81. 11. 28 [(声) 少年の非行に親の責任重大 (45歳損保代理店)]
81. 11. 29 非行防止をぜひ 警察へ期待しています 総理府調査
81. 12. 04 校内暴力防止へ父母らスクラム 本田署管内で連絡会議〈東京〉
81. 12. 07 [心のつながりあれば… 非行防止願い組曲 中野篠さん, 12日に発表〈東京〉]
81. 12. 08 (声) 教師になろうなど気安く考えないで (19歳浪人)
81. 12. 09 (声) 情熱ある教師育てる議論を (40歳主婦)
81. 12. 11 甘い家庭, 校内暴力の温床 青少年白書 55年 1558件, 中学校で77% めだつ遊び型非行
81. 12. 13 [「雷おやじ」復活 各界の「強い男」会作る やるぞ教育相談・講演会〈東京〉]
81. 12. 13 中学校長, 校内で自殺 鹿兒島「生徒指導に力不足」
81. 12. 14 (社説) 満足する若者と荒れる中学生
81. 12. 15 (News 三面鏡) 牛刀少年 生活態度ガラリ 父も「再出発の助けを」暴力生徒心は通った
81. 12. 15 頭刈って「もうしない」埼玉県・北本西中 八人が決意を形に
81. 12. 21 (声) 身勝手目立つ学校教育批判 (32歳教員)
81. 12. 24 (声) 俗悪な学園ドラマ (47歳講師)
81. 12. 24 中学番長「勉強」誓う 都内で初めて 連合支部を解散
81. 12. 26 非行の主役は荒れる中学生 警察庁がまとめ37%、高校生を上回る
81. 12. 26 (声) 生徒の心開くのは教師の真心の一言 (44歳主婦)
81. 12. 26 (News 三面鏡) おさまった校内暴力 小松中学, 9ヵ月の実践 進学同級生気遣う 父母「協議会」も軌道に
81. 12. 29 非行の「根」幼児期にある 過保護でゆがむ性質 威圧・干渉 育て方への反動 都教研分析
81. 12. 31 (声) 事件の背後に荒廃した社会 (68歳無職) (記事数 100件, 声欄 67件)
82. 01. 05 カギは教師の「やる気」都教育研究所 暴力消えた学校分析
82. 01. 05 “豊かな心” 育成へ 校内暴力対策 文部省内に推進会議
82. 01. 07 校内暴力には“力”で 埼玉県 早朝解決へ特別委
82. 01. 10 元番長, 新生へ巣立ち「自信, やっと出た」10ヵ月遅れ卒業証書受ける 支えた刑事と保護司 体罰禁止条項外して 愛知県の PTA 団体「教師の弱腰招く」全国的請願運動めざす 右傾化

- 警戒の声も
82. 01. 13 中3, 校内で逮捕 二人 注意され先生殴る  
世田谷・桜丘
82. 01. 16 (声) 元番長君おめでとう (48歳会社員)
82. 01. 17 (教育の広場) 体罰は是非か 禁止規定削除運動が波紋 禁止は先生の熱意そぐ面も 力で抑える管理体制に疑問
82. 01. 17 (教育の広場) 青少年非行めぐる論議 危険な管理強化案 根源は高度成長に
82. 01. 18 (声) とても腹が立った校内暴力委の設置 (18歳高校生)
82. 01. 19 (社説) 喜びをしらない少年たち
82. 01. 19 校内暴力期寒々この誤解 13人で他校に スワ 番長襲撃 住民110番, 警察出動 目黒の中学
82. 01. 19 [取り締まりより環境作り 少年非行防止で警察庁方針 万引きさせぬ売場を]
82. 01. 20 (声) 体罰を復活しても学園の平和訪れぬ (32歳中学校教員)
82. 01. 21 「雷おやじ」認定第1号 体張り父権回復 他人の子にも愛のムチ 東京の田島さん
82. 01. 27 (声) 体罰は子供を傷つけるだけ (31歳主婦)
82. 01. 27 生徒20人ともみ合い 教師5人けが 注意が発端 警察を呼ぶ騒ぎ 埼玉の県立高校
82. 01. 28 (声) 暴力番組再考促す (36歳主婦)
82. 01. 29 先生けられ開腹手術 深川五中 注意され生徒反抗
82. 01. 30 打つ手ないか校内暴力 親と一体の努力破れた 深川五中 届留保 母の授業参観 紳士協定…水の泡 内申不利, 三年が動揺/創価学会教育部の調査 抑圧感から解放する努力を 存在感薄い父親, 接触図れ 五人に二人が共感 都内の中学生荒れる下地に〈東京〉
82. 01. 30 先生殴った四人逮捕 大田区の中学生「進路指導に不満」と
82. 01. 31 動揺收拾へ臨時学年集会 傷害事件の深川五中〈東京〉
82. 02. 02 [(社説) 教育に広がる危険な風潮(偏向という名の統制)]
82. 02. 03 (天声人語) (父母のパトロール隊子供の管理ではないか)
82. 02. 03 中三, 先生なぐり逮捕 西多摩羽村町
82. 02. 05 (声) 問題生徒と癒着やめよ (56歳中学教員) /ほとんどは着実に成長 (48歳教員) /教師の立場ももっと強く (35歳主婦) /厳しき欠く親こそ校内暴力生む原因 (17歳高校生) /一律の体罰論より個々に合う指導を (17歳高校生) /むしろ反発を招くきまりの押しつけ (15歳中学生)
82. 02. 06 校内暴力対策の小委も設置
82. 02. 06 [高校の校庭を暴走 少年二人 授業中の教師けが]
82. 02. 08 (声) 体罰とんでもない むしろ反抗心抱く (13歳中学生)
82. 02. 09 [家庭内暴力も論議の対象に 中教審教育内容小委]
82. 02. 12 創意工夫より教育相談 中学校のゆとりの時間 文部省調査 非行・暴力対策に迫われ
82. 02. 13 (社説)「ゆとりの教育」の前進を
82. 02. 13 (声) 上の乱れ映す青少年の非行 (72歳無職)
82. 02. 14 (教育の広場) 三通りの体罰観 良いか悪いかより代案を含め論議を
82. 02. 16 「荒れる中学生」カルテ「提言」まとめた福田
- 教授に聞く 先生が権威失うと混乱 危険多い ショック療法
82. 02. 16 (声) 私を殴って論じた恩師, 今懐かしく (30歳司法受験生)
82. 02. 16 (声) 少年向け雑誌にも暴力植えつける芽 (35歳主婦)
82. 02. 18 番長ら四人を逮捕 足立の新設中
82. 02. 24 「受験失敗は先生のせい」三人, 職員室で乱暴 世田谷の中学
82. 02. 25 小6も校内暴力 先生を数回殴る, ける 北九州
82. 02. 25 中学生二人を逮捕 先生に乱暴 (足立区)
82. 02. 28 (声) 少年の非行に思う (26歳保母)
82. 03. 02 (声) 体罰是非の論議は教育現場に任せよ (18歳学生)
82. 03. 11 (論壇)「正しい権威」いまこそ必要 子らに示そう, 優れた生き方を
82. 03. 12 (論壇)「教育的善意」での体罰 論理を超えた極限ではあり得る
82. 03. 13 暴をもって暴を制す 埼玉の中学 先生が「静かにさせて」番長OBが現役を殴る
82. 03. 15 (論壇) 暴力追放に教師の知恵を 生徒の信頼つかむ具体策尽くせ
82. 03. 17 番長ら50日自宅学習 中3ら卒業式まで“隔離” 埼玉
82. 03. 17 校内暴力の“がん” 壊滅へ 警視庁 番長組織解体に照準 すでに10人逮捕200人補導
82. 03. 18 先生への暴行32件明るみに 番長連合解体作戦
82. 03. 20 中学生ら2139人補導 都内 卒業式終え飲酒, 盗み
82. 03. 20 [高校生, 授業中の先生射殺 米国 警官隊と銃撃戦も展開]
82. 03. 23 [(今日の問題) 体罰の伝統]
82. 03. 24 校内暴力の二人, 涙で卒業式 施設から帰り立ち直る 心の揺れ抑え二ヵ月 葛飾の中学校長が励ましの言葉〈東京〉
82. 03. 25 (天声人語) (千葉の県立高校長の自殺)
82. 03. 26 (社説) 高校長の死は訴える
82. 03. 26 良薬は「わかる授業」中学校長会 校内暴力で指導集
82. 03. 28 (声) 校長を追いつめた学園の荒廃悲しむ (59歳用務員)
82. 03. 29 (声) 生徒を思えばこそ最後の手段に体罰 (19歳学生)
82. 03. 29 [[「悪口いわれた」と誤解 先生をバットで殴る 品川の中二 血をみて驚き家出]
82. 03. 30 (声) 自殺高校長以前に教育荒廃の原因あり (75歳無職)
82. 03. 30 (声) 地域住民と学校の協力が教育の原点 (16歳高校生)
82. 04. 05 (声) 教師と親が立ち上がる時 (36歳主婦)
82. 04. 05 (声) 悲劇を生んだ若者への甘さ (63歳高校講師)
82. 04. 05 (声) 生徒説得する気概を持とう (24歳高校講師)
82. 04. 05 (わたしの言い分) 中学教育現場で守る 子を迷わす社会の病 心の通いが不可欠
82. 04. 06 [(社説) 新入学期に望むこと]
82. 04. 13 (教育の広場) 中学校の校内暴力 問題あるのは当然 隠さず協力し解決
82. 04. 18 (声) 非行防止への道は学校と地域の密着

教育問題の社会的考察

- (27歳公務員)
82. 04. 19 (声) こんな教師に私はなりたい  
(26歳中学教師)
82. 04. 24 初期非行対策地域ぐるみで 警視庁, 来月から  
<東京>
82. 04. 26 (声) 体罰のすべてが悪いと思わぬ  
(13歳中学生)
82. 05. 08 シンナー生徒が扇動 ガラス180枚割る 川崎  
の中学校
82. 05. 08 荒れる教室乗り越えた 東京・蓬菜中「手打ち  
うどんクラブ」や大根作り ふれあいで着々と  
成果 文相, 10日に視察
82. 05. 10 文相, 蓬菜中を視察
82. 05. 18 職員室で大暴れ 12人補導 非行を親に連絡さ  
れ
82. 05. 19 空き缶拾いやスポーツ活動 体で覚える社会  
ルール 非行防止 警視庁が対策要綱
82. 05. 24 問題生徒牧場に預ける 校長「立ち直る契機に」  
区教委「責任放棄に恐れ」東京大田区の中学「自  
分の希望, やるさ」と本人
82. 05. 25 (教育の広場) 教師に助っ人 子どもの行動見  
て「なぜ」の気持ちを
82. 05. 29 「非行相談」へ専門員制度 学者らの知恵を拝  
借<東京>
82. 05. 29 「登校途中むごい「いじめ」縛ってライターの  
火 少年2人を逮捕・補導 中三, 腹などやけど  
江東」
82. 06. 02 中三, 先生に暴行 重傷 警察が傷害で捜査  
品川
82. 06. 03 「非行地図」を計画 イメージ固定の恐れも  
埼玉県
82. 06. 05 校内暴力に「とらの巻」文部省, 中学校に配布  
逃げ腰先生を鼓舞激励
82. 06. 06 (声) 牧場に預けられた問題生徒がんばれ  
(32歳自営業)
82. 06. 11 少年よ, 街頭清掃を! 「非行防止は社会参加  
で」警視庁, 精神運動に乗り出す
82. 06. 19 非行低年齢化で「小学校版」文部省が防止手引  
書「先生たちは一緒に遊べ」
82. 06. 19 (論壇) 父親よ あなたの出番です 母の「か  
ばい」で子は成長しない
82. 06. 20 (声) 落ちこぼれの叫びにも耳を (29歳無職)
82. 06. 20 授業妨害防止へ「参観」ここまで来た健全対策  
調布市立第七中の試み 三年父母, 交代で毎日  
学校「不本意だが静かに」「好ましくはない」  
都教育庁 逆効果心配の声も<東京>
82. 06. 22 先生しっかりして 校内暴力退治 警察力導入  
に反対 父母の声, 文部省調査
82. 06. 24 少年非行は大人にも責任 審議会が対策答申
82. 06. 25 連絡会議設置へ 非行防止で政府
82. 06. 26 小・中学校で非行防止教育 警察庁, 来月から
82. 07. 06 (教育の広場) 何をもちらしたか長期授業参観  
の試み 関西2中学校 教師・父母のズレ縮ま  
る「親から監視」と反発も
82. 07. 09 中三ら四人逮捕 もみ合い, 教師一人けが 足  
立区
82. 07. 12 (声) 先生にも問いたい自らの「不良度は」  
(18歳高校生)
82. 07. 13 少し減った? 校内暴力 警視庁調べ「泥沼」校  
も姿消す<東京>  
※はじめての校内暴力減少の報道
82. 07. 14 「校内暴力」を集中審議 都議会文教委「信頼  
の確立急げ」原島氏「充足感持たせよ」江幡さ  
ん
82. 07. 16 「死の決闘」先生傍観 大阪の中学生 殴り合  
い, 生徒死ぬ
82. 07. 18 (社説) 少年非行はなぜ広がるのか
82. 07. 18 初の「非行防止の日」子供らが農園づくり 清  
掃・老人ホーム慰問も<東京>
82. 07. 19 先生を殴りたい この気持ち中高生に三割も  
都市対象に総理府調査「えこひいき・叱る」親  
に反抗四割超す 女子にも暴力志向
82. 07. 20 (教育の広場) 追い詰められる教師 自殺の背  
後に潜むものは? 厳しい管理・親の注文 昨年  
は全国で101人も
82. 07. 31 (声) 中, 高校生諸君よ自他の暴力許すな  
(66歳機械工)
82. 08. 30 校内暴力 こわい中学生 事件の95%占める  
10件中4件先生が被害 地方にも拡散 今年上  
半年警察庁調査。
82. 08. 31 (教育の広場) 「体罰は子どもの人権侵害」是  
認の風潮問い直す 研究会の発足を定める
82. 09. 06 週三日登校で卒業 横浜の中学校 生徒に脅さ  
れ承諾書
82. 09. 12 喫煙疑われ先生殴る 体育教師, 三週間のけが,  
浦和の中学
82. 09. 14 (声) 生徒ゆがめる体罰の愚かさ (70歳元教員)
82. 09. 14 (声) 体罰は認める父母も反省を  
(47歳会社役員)
82. 09. 18 塾の団体が「校内暴力110番」専門家が相談,  
解決手助け
82. 09. 20 非行対策, 相談も機動的に 来年度, 専門家チ  
ーム巡回
82. 09. 27 (声) 校内暴力の防止は先生より親に責任  
(18歳学生)
82. 09. 27 非行防止は若者の手で 都が来月公開講座実態  
と背景考えよう 精神科医ら講師に<東京>
82. 10. 17 教師に七度も集団暴行 二年生注意に反発 四  
人補導 非行防止の運動中 武蔵村山第二中
82. 10. 19 刑法犯7.8%も激増 犯罪白書 少年非行は最  
悪
82. 10. 21 校内暴力 中3生を現行犯逮捕 神奈川の開成  
町
82. 11. 07 「暴力少年」が校内暴力劇 人形劇で追体験  
解決法, 学ばせる試み 群馬の赤城少年院
82. 11. 27 生徒五十人, 教師に乱暴 注意に反抗 竹刀振  
り回す 千葉の中学校
82. 12. 03 初の指導推進会議 非行や校内暴力対策 6日  
から文部省
82. 12. 07 校内暴力・非行で全国会議 文部省 教師側の  
責任も指摘 はねかえる不当体罰「一致した指  
導体制」必要
82. 12. 07 (声) 校内暴力対策妙案ないのか (46歳自営業)
82. 12. 13 非行原因しからぬ親甘い学校 中学生が厳しい  
目 総理府調査 受験戦争には88%が肯定的  
増える「遊び型非行」青少年白書 弱い親, 過  
保護も一因
82. 12. 17 (社説) 子ども問題への視点
82. 12. 21 非行, 3年続き記録更新 警視庁発表 粗暴・  
低年齢化進む
82. 12. 25 注意受けた生徒が刺す 大森の中学, 先生けが  
(記事数 88件, 声欄 35件)

83. 01. 09 「平和守る教育」柱に 校内暴力や「教科書」もあすから教研集会 (66歳元常務理事)
83. 01. 13 非行、教師に責任ない？半数が「家庭に原因」千葉の調査「残念な数字」と反省 教研集会から
83. 01. 19 (声) 基礎学力充実こそ校内暴力への対策 (48歳中学教員)
83. 01. 29 教師に集団暴行 東京の中学三年生8人 後輩の前で示威？
83. 02. 05 [同級生刺し死なす 中3, いじめられ 所沢]
83. 02. 12 [浮浪者殺傷「おもしろ半分」16歳少年を緊急逮捕 中学生ら仲間10人 抵抗しない, と次々横浜「遊び, 30件やった」追及]
83. 02. 14 校内暴力3年ぶりに減る 昨年1年間 警察庁調べ 先生の被害は大幅増 中学生が9割 計画的・粗暴化めだつ  
※校内暴力減少の報道
83. 02. 14 (声) 弱者切り捨て教育荒廃に根 (53歳管理薬剤師)
83. 02. 16★暴力生徒を先生が刺す 町田の中学校 果物ナイフで「自衛」そのまま父親宅に帰る 生徒は胸に10日のけが 学校の荒廃どこまで 指導体制に疑問が残る 文部省の見方
83. 02. 16 生徒刺傷 先生, 本格取り調べ ナイフ「洗うつもりだった」
83. 02. 17 (社説) それでも教師に頼みたいこと
83. 02. 17 30分前 生徒側が乱暴 刺傷事件の忠生中教師逃げた後, 凶器持つ「学校を非難せぬ」と父親語る
83. 02. 17 子どもが「弱者」を襲う時<上> 日常の光景 加害教師へ「原爆病!!」弱点かぎわけ, 大人をも狙う
83. 02. 17 忠生中学事件 傷害の教師送検 ナイフ常時携行はせず？生徒も取り調べ
83. 02. 18 子どもが「弱者」を襲う時<中> 被害から加害へ 虐待された痛み転嫁 家庭不和, 体罰続く中で
83. 02. 19 (声) 暴力見ぬふり学校側に責任 (36歳地方公務員)
83. 02. 19 (声) 家庭のしつけ放置こそ問題 (54歳高校教師)
83. 02. 19 職員が地検と警察に嘆願書 忠生中 <東京>
83. 02. 19 子どもが「弱者」を襲う時<下> 閉ざされた世代 受験脱落, うつろな心「実習」と称し, 体よく追放
83. 02. 20 「オレたち先生に乱暴しなかった」ツッパリ先輩が「説教訪問」 忠生中 <東京>
83. 02. 20 反省, 不信入り乱れ 町田・忠生中 PTA 総会4時間の激論「本音を」と迫る父母 表には突っ張る生徒 生徒を町でみたらやさしいひと言を 努力目標4点決める
83. 02. 20 先生を集団で暴行 大和の中学生 名古屋でも
83. 02. 21 女生徒が女教師襲う かげで「療養」欠勤状態に 名古屋の中学
83. 02. 21 生徒19人を書類送検 町田 忠生中
83. 02. 22 (声) 少年犯罪にはもっと厳罰で (34歳税理士)
83. 02. 22 少年犯罪に妙案でず 文部省の有識者懇
83. 02. 23 (声) いやがらせに「原爆病」とは (67歳神奈川県原爆被爆者の会会長)
83. 02. 23 (声) 授業に疲れて悶々たる日々 (50歳教員)
83. 02. 23 (声) 教育的な配慮社会全体にも (55歳小学校教員)
83. 02. 23 文部省あげて取り組み体制 少年非行で 総理府でも検討会
83. 02. 23 学校管理の強化も 非行防止連絡会議開く
83. 02. 24 忠生中学校長が進退伺 刺傷事件で責任 <東京>
83. 02. 25 学園春遠く 荒れた校舎に絶句 文部政務次官ら忠生中視察/大学で 退官講義を妨害 東大覆面で乱入教壇占領/高校で 疑惑の教師逮捕 体操着汚職 古参で決定権握る/中学で ナイフ使い先生を脅す 香川/小学校で 担任が児童にいたずら 千葉 依頼退職に「甘い」と父母ら
83. 02. 26 青少年非行で緊急対策指示 中曽根首相
83. 02. 26 (声) 学歴に偏らぬ別の価値観を (33歳会社員)
83. 02. 26 非行対策に全力投入を 首相が指示
83. 02. 27 非行ストップ親たちが「塾」「生き方」共に考える 海水浴, ソフトボール, 老人ホーム訪問…親子が同じ感動を 調布・金子団地 <東京>
83. 02. 27 職員室乱入 中3大暴れ 東村山市5中 もみ合い5教師けが 2人逮捕「親に注意」で反発就職組で自宅研修中
83. 02. 27 生徒投げ重傷負わす 茨城水海道中 胸ぐらつかまれ防衛？
83. 02. 27 教師殴り消火器噴射 荒れる中3 御殿場でも「ディスコ」で対立
83. 02. 28 男子生徒二人送検 東村山5人の職員室乱入
83. 03. 01 (教壇) 校内暴力の根を断て 学校は偏差値製造工場から脱せよ
83. 03. 01 「名も知らぬ生徒傷つけ」八木教諭がおおび <東京>
83. 03. 01 八木教諭が退職願提出 町田の生徒刺傷
83. 03. 01 中三の3人傷害で逮捕 先生や級友に乱暴 埼玉
83. 03. 02 非行生徒「登校停止」は違法性強い 文部省が実態調査「校外実習」「自宅研修」指導基準づくりへ
83. 03. 02 八木教諭と連絡つかず 忠生中事件で市教委 <東京>
83. 03. 02 少年非行で意見交わす 総務長官らが懇談会
83. 03. 03 校内暴力で討議 自民の対策小委
83. 03. 04 環境浄化を推進 生徒指導体制も強める 非行防止で政府5項目
83. 03. 06 (家庭) せんりつ！荒れる中学 映画「夜をぶっとばせ」に見る 全国の実話集めて創作
83. 03. 07 非行対策論議自民内も活発 強い規制強化の声 受験体制反省は少数派
83. 03. 08 (社説)「教育」で世論をどう聞か
83. 03. 08 非行グループ解体を(警察庁)
83. 03. 09 教師の協力体制急げ 暴力非行 有権者が提言
83. 03. 09 (紙面批評) 大きな報道は禁物 中学生暴力誘発の契機にも
83. 03. 09 話し合い一生徒また暴れ 熱湯あび先生火傷 市原の中学
83. 03. 11 「荒れる教室」総点検 文部省 教育長会議で指示
83. 03. 11 自民小委でも校内暴力論議 対応策 月末には結論
83. 03. 12 教師の体罰も否定 共産, 校内暴力で提言
83. 03. 12 (声) 未熟な中三が最年長は問題 (66歳医師)
83. 03. 12 (声) 発達段階考え四・四・四制に



教育問題の社会学的考察

83. 03. 13 (声) 管理の強化は教育の放棄に (19歳学生)
83. 03. 17 忠生中でまた乱暴 今度は女生徒 下級生リンチ
83. 03. 17 中学校の卒業式 警察への依存強まる 776校が警戒要請 本社調べ 昨年より66校増 父母反発, 見直す県も
83. 03. 17 国民運動規模で非行対策を推進 自民小委決める
83. 03. 17 警察・学校 密着くっきり 中学卒業式の警戒出動の“注文取り”も
83. 03. 17 男子生徒も乱暴 四人がかり下級生殴る 忠生中
83. 03. 17 消火栓開かれ校舎水びたし 大阪の中学
83. 03. 18 校内暴力 公明, 姿勢変え日教組批判
83. 03. 18 小六男児, 先生殴る 注意されて「恥かいた」
83. 03. 18 「蛍の光」窓には警官?! 都内の中学 荒れる春, 15万人巣立つ
83. 03. 19 自民が非行対策本部設置へ
83. 03. 20 (社説) 警官のいる卒業式とは
83. 03. 20 (声) 首相の日教組非難的はずれ (67歳無職)
83. 03. 20 (声) 組合の姿勢に校内暴力の根 (73歳元高校教員)
83. 03. 20 非行対策で呼びかけ PTA 全国協会
83. 03. 21 (声) ねらいは放校「退学権利」論 (50歳公務員)
83. 03. 23 校長先生らを殴る 上福岡で四中学生
83. 03. 24 非行防止 父母が毎日授業“監視” 埼玉の中学校 全員に当番割り当て
83. 03. 24 忠生中関係者ら呼び事情を聴く 自民校内暴力小委
83. 03. 24 [小5少女がリンチ 茨城の小学校 11人で体中殴る, ける]
83. 03. 26 (声) 信頼のきずなつながらるのに (15歳中学生)
83. 03. 26 八木教諭を論旨退職 忠生中の生徒刺傷
83. 03. 27 忠生中で校内整備 親子が200人〈東京〉
83. 03. 28 (論壇) 学園で疎外される子供たち 職業訓練やカウンセラー配置を
83. 03. 28 (声) 放校が最大の効果持つ現状 (59歳学習塾教師)
83. 03. 28 「校内に警官」1225校 中学卒業式 昨年より15%増加 警察庁調べ 高校の10倍も
83. 03. 29 警察庁発表は1225校…文部省調べでは261校 中学卒業式の警官立ち入り警戒 それぞれの事情を反映 実態は中間か
83. 03. 29 (論壇) 荒れる中学, 克服できる 生徒指導に欠かせぬ教職員の連携
83. 04. 02 (家庭) 少年非行, しつけ不足を感じる親
83. 04. 03 (声) 非行防止には連帯感が必要 (15歳中学生)
83. 04. 04 (声) 校内暴力の解消に生徒も立ち上がれ (61歳会社顧問)
83. 04. 04 (声) 級友たちの嘲笑も大きな原因の一つ (18歳学生)
83. 04. 05 日教組とは話し合わぬ 校内暴力対策で文部省
83. 04. 05 (声) 公立学校への不信あおるな (34歳塾講師)
83. 04. 07 (社説) 新入生を迎える学校に
83. 04. 07 (論壇) 教育荒廃とマスコミの責任 物質快楽主義を助長していないか
83. 04. 08 教育に支障あれば法に沿った措置を 校内暴力で自ク提言
83. 04. 08 (声) 情熱ある先生新組織を作れ (22歳学生)
83. 04. 11 [(文化) 学校教育に根をはる弱いものいじめ
- の論理 温存された悪い伝統]
83. 04. 13 (声) 校内暴力の責任は黙認する生徒にも (45歳主婦)
83. 04. 14 非行 中学校長は悲観的 82%が「当分続く」 「今後好転」わずか6% 校長会アンケート調査
83. 04. 20 女生徒をリンチ「グループ脱退許さぬ」中学生 14人補導 大和市
83. 04. 20 平塚では男女16人補導 リンチ・校内暴力
83. 04. 24 マンモス校解消へ本腰 非行対策の一環 縮小に助成強化も 文部省が実態調査
83. 04. 29 忠生中事件が決着 八木元教諭に罰金10万 乱暴生徒は家裁送り 二ヵ月半余波はなお重く立ち直りへ懸命 生徒・親・教師
83. 04. 30 (声) 暴力事件への対応甘い学校 (46歳国家公務員)
83. 05. 01 「校内暴力の抜本策を探る 国立教育研
83. 05. 03 「教育臨調」を提唱 校内暴力対策で民社党
83. 05. 08 小学校落ちこぼれ防げ 個別指導へ手引書 文部省 一斉授業見直し
83. 05. 08 (声) マンモス校の解消を進めよ (73歳無職)
83. 05. 08 「49年」から非行急増 進む管理化, うっ積爆発
83. 05. 13 校内暴力あおる 生徒の母 学校の注意に腹たて 伊勢崎
83. 05. 14 父母が「荒唐見ておれぬ」校内で生徒指導 教師から異論なし 千葉の中学
83. 05. 15 先生全員を殴る 注意され逆うらみ 中三5人が大暴れ 京都・宮津
83. 05. 16 先生を監禁, 暴行 服装注意されて十数人で京都の中学
83. 05. 19 [教員免許基準引き上げ提言 自民小委決める]
83. 05. 19 首相, 教育問題で研究会構想
83. 05. 24 非行対策巡回相談 東京など十六地域 文部省 難解決を手助け
83. 05. 24 (声) 生徒の指導はやはり教師に (66歳無職)
83. 05. 24 校内暴力に「十の提言」自民党文教部会
83. 05. 25 中学へ行きたくない“本音”は「暴力振るわれる」トップ 大半の親は気づかず 練馬区で調査〈東京〉
83. 05. 26 (声) 学級運営こそ非行防止の基 (55歳基教員)
83. 05. 29 (声) 「荒唐」口実に努力を怠るな (23歳学生)
83. 05. 31 忠生中でまた乱暴 生徒三人逮捕送検〈東京〉
83. 06. 03 「荒れる中学」7校に1校 文部省が初の調査 高校も一割を超す 昨年度公立校 教師, 1880人が被害 激増する登校停止
83. 06. 08 文部省集計「荒れる中学7校に1校」内容分析が先決 教委報告にバラつき ウミ出せば増える件数
83. 06. 08 (社説) どう読むか「校内暴力調査」
83. 06. 14 教育懇きょう初会合 長期的観点 制度の改革案めざす
83. 06. 16 中三 先生ら殴り逮捕 (静岡)
83. 06. 21 校内暴力, 区も賠償を 中野の中学 けがの生徒と親訴え
83. 07. 06 [生徒写真帳 警察へ提供 秋田の公立校「非行対策」親の名簿も]
83. 07. 07 教育制度見直しや道徳教育の強化を「校内暴力」で日経連
83. 07. 08 (社説) 学校と警察の強力には節度を
83. 07. 10 (声) 暴力助長する“正当な理由” (22歳学生)

83. 07. 17 教室に4時間“ろう城”中学生20人「規則厳しい」群馬 (24歳大学院生)
83. 07. 31 マンモス校6.1%も 小・中学校 文部省が調査 2144校、解消はばむ用地難
83. 07. 31 (声) 教師と生徒の壁除き対話を (24歳無職)
83. 08. 01 (声) 教師の存在は疎ましいのか (25歳教員)
83. 08. 02 道徳教育を強化 文部省 校長らに初の研修  
来年度計画モデル校も指定
83. 08. 02 (解説) 教祖の反発必至 道徳教育強化 校内暴力を背景に自民攻勢
83. 08. 25 [(社説) 日教組は硬直化を防げるか]
83. 09. 03 (声) 教師墜落さす道徳教育強化 (32歳無職)
83. 09. 09 中学に少年乱入 今春の卒業生 制止の先生3人けが 足立
83. 09. 10 二人を逮捕、補導 卒業生の教師暴行
83. 09. 17 [(社説) 教育は笑顔を忘れてはならない]
83. 09. 19 校内暴力は悪化 女性教師の被害倍増 今年上半期補導4300人
83. 09. 23 (社説) 嘆くだけではすまぬ校内暴力
83. 09. 28 仲裁の教諭だけが 生徒になぐられる 川崎の中学
83. 10. 08 [高校教室で散弾銃 仕返し発砲、級友重傷愛媛]
83. 10. 13 [(家庭) 子供の世界で広がるいじめ NHK番組に反撃殺到 常識破る陰湿な実態] ※いじめ問題
83. 10. 21 (声) 反省迫られた中学生の意見 (40歳主婦)
83. 10. 21 教頭、生徒に刺される 校内で非行を注意中 北九州の中学校
83. 10. 21 先生に“手錠”かけて乱暴 愛知で中三
83. 10. 31 少年非行「原因は家庭に」46%「しついで防止」74% 総理府の世論調査
83. 11. 09 教員室で生徒大暴れ 教諭10人重軽傷 殴り、胸を踏みつける 大宮の中学2人を逮捕
83. 11. 13 [(声) 弱いものいじめ教師にも一因 (23歳学生)]
83. 11. 15 少年非行さらに低年齢化 4年連続 戦後最高を更新へ 万引きや対教師暴力が急増
83. 11. 17 中学生30人大暴れ 1人逮捕、教師5人けが 給湯室などメチャメチャ 川崎・野川中
83. 12. 02 子供が見えない教師多い 遠藤豊吉さんの相談室10ヵ月 無気力・暴力の背後に〈東京〉
83. 12. 04 (声) 不評通りでも生徒かわいい (27歳教員)
83. 12. 06 「出席停止」に運用指針 校内暴力対策で文部省 校長の判断を重視 教師への暴行など目安「自宅謹慎」は中止促す
83. 12. 06 (解説) 出席停止文部省指針 指導態勢づくり抜きで 処分先行の恐れ
83. 12. 13 (声) 出場停止措置乱発に慎め (76歳牧師)
83. 12. 13 (声) 改心の道すら閉ざす恐れも (22歳学生)
83. 12. 18 (声) 学校の荒廃が塾に走らせる (16歳高校生)
83. 12. 23 (声) 「出席停止」よりも「学校謹慎」検討を (35歳主婦)
83. 12. 29 少年非行 年間で20万人に迫る 全刑法犯の約半分 警察庁まとめ
83. 12. 30 [(「いじめっ子」指導に手引書 文部省が来春配布) (記事数 122件、声欄 37件)]
84. 01. 03 (声) 生徒らと奮闘情熱失わず (40歳教員)
84. 01. 04 (声) 子どもの叫び受け止める時 (37歳無職)
84. 01. 22 (声) 若者批判より教育の再建を
84. 01. 27 [学制改革へ“教育臨調”政府方針 首相、直属機関を望む]
84. 01. 28 マンモス校ほど荒廃 手届かぬ生活指導 非行・忘れ物多発 顔覚えきれぬ教師 日教組など調査
84. 01. 29 (声) まず小学校の充実こそ必要 (21歳学生)
84. 02. 01 (声) 教育制度改革より学歴社会変えねば (24歳学生)
84. 02. 02 雪遊び注意の2先生を殴る 浦安中で校内暴力
84. 02. 17 (声) 教師の実践報告に光明を見いだした (20歳学生)
84. 02. 29 [少女少女向け「有害図書」自民が規制へ法試案 罰則設け販売禁止]
84. 03. 01 校内暴力再び増加 警察庁、卒業式を警戒
84. 03. 13 問題生徒の出席停止 教委の指示が必要 都が指針決定
84. 03. 18 教師のストレスに“労災”暴力対策で神経症入院事故「公務に起因」初認定
84. 03. 18 (声) 束縛だらけの教育こそ問題 (19歳学生)
84. 03. 18 中学苦悩の卒業式 ツッパリ18人自宅待機 町田 川崎
84. 03. 19 (News 三面鏡)「心の病」教師に深刻 公務申請増加の気配 非行対策に追われ挫折
84. 03. 24 警官立ち入り昨年の半分 中学校卒業式 (文部省)
84. 03. 24 市教委へ警部出向 非行対策、日教組は批判 福井
84. 03. 27 (特集) 荒れた中学脱皮への一年 千葉市松ヶ丘中の場合(上)「男の約束」が転機に
84. 03. 28 (特集) 荒廃解決へ本音の交流 千葉市松ヶ丘中の場合(下) 親と教師、現場で強力
84. 04. 04 登校拒否に4つの処方 文部省が手引書 家庭と連携強調 6タイプに分け対応 教師の熱意やはりカギ
84. 04. 05 (声) 少年非行の防止はおとなの反省から (66歳地方紙記者)
84. 04. 11 (家庭) ベテラン教師が辞めていく 中学校では若い先生が…神経疲労が高まって 定年制絡み得策とも
84. 04. 24 [(「いじめ」招く遊び仲間不足 いじめられっ子は過敏で依存心強い 文部省が手引書)]
84. 05. 13 [(声) “いじめ”生むつながら喪失 (22歳学生)]
84. 05. 25 [(声) いじめっ子たちに毅然とした指導を (55歳小学校教員)]
84. 06. 06 「小中学校に不満」強まり55% 学校教育 本社が全国世論調査
84. 06. 19 女生徒三人大暴れ 鉄パイプで窓を割る 新座四中
84. 06. 27 レポート教育改革 この人に聞く 校内暴力はなくせるのか 沖原豊氏
84. 07. 05 中3の9人大暴れ 2人逮捕 私服登校撮影に反発 千葉・浦安中
84. 07. 13 (声) 荒れ狂う中学校でわが子をどう守る (33歳主婦)
84. 07. 17 校内暴力峠越す 文部省調査 というけど、ほんと? 58年度中の公立中・高校 先生のご難2割減 問題学校数横ばい 大都市から地方に拡散  
※校内暴力減少の報道
84. 07. 27 (論壇) 夏の非行防止に手を抜くな 文部省調

教育問題の社会学的考察

- 査とは違う教育現場  
 84. 08. 01 (論壇) 警察主導の非行対策は疑問 専門的施設の整備拡充こそが先決  
 84. 08. 10 校内暴力克服に一斉主義の脱皮を提唱 公教育个性的に 大規模校解消も急務 国立教育研究所  
 84. 08. 15 「いじめっ子いじめられっ子問題 目立つ教師側の反省の弁 パネル討論会」  
 84. 08. 21 教育荒廃をどうする 気になる審議の行方 臨教審の委員決定  
 84. 08. 27 (論壇) 非行防止に警察活動必要 応急措置が欠かせぬ場合もある  
 84. 08. 31 少年非行減少の兆し 校内暴力は3割減 16・19歳の増加目立つ 1-6月警察庁まとめ  
 ※校内暴力減少の報道  
 84. 10. 19 “学園リンチ” 上級生が顔にカミソリ 少女恐怖で両足マヒ 車イス生活に 茨城の中学  
 84. 11. 12 「うっぶん、残忍な逆襲 大阪の同級生殺人 いじめ一段と陰湿化」  
 ※いじめ問題  
 84. 11. 13 先生、生徒を刺す、口論、ナイフで 横須賀の中学  
 84. 11. 14 「反抗されて逆上」生徒刺した中学教諭 威嚇にナイフ出す  
 84. 11. 17 [(声) 人ごとでない同級生の殺人 (43歳会社員) いじめ問題]  
 84. 11. 17 [(声) 生徒の相談に耳を傾けてほしい教師 (20歳主婦) いじめ問題]  
 84. 11. 20 教師四人に乱暴し逮捕 中野で中学生二人  
 84. 11. 29 [(声) 自由に席選べたらいじめに少し救い (29歳医師)]  
 84. 12. 14 (社説) 殴るのは教育だろうか  
 84. 12. 29 少年非行数 8年ぶり 下降線 校内暴力・万引き大幅減 新たな問題いじめ・凶悪化 (警察庁)  
 ※校内暴力減少の報道、いじめ問題 (記事数 28件, 声欄 9件)  
 85. 01. 15 同級生の暴行で大けが、恐怖から心身症 宇都宮の高校  
 85. 01. 23 「死を呼ぶ同級生の“いじめ” 水戸の中2少女「もうやめて」と自殺」  
 ※いじめ問題  
 85. 01. 25 泥酔の中3、教室に乱入 先生 暴行され重体 青森  
 85. 01. 30 校内暴力、ついに先生の死者けられ重体の中渡さん 青森  
 85. 02. 08 「暴力一掃の姿見て」町田の忠生中 公開授業で再建披露  
 85. 02. 08 「告げ口」と針の仕返し 授業中、百回近く刺す 群馬で中3女子  
 85. 03. 09 「「いじめ」全国調査 陰湿化への対応探る 文部省」  
 85. 03. 24 公立中の卒業式、平穏に 警官警備は3割減 文部省調査  
 85. 03. 29 中高の卒業式警備、文部省調べの8倍 警視庁がまとめる  
 85. 04. 08 窓ガラス割る 入学式目前に127枚 狭山の中学校  
 85. 04. 11 (ニュースライン) 校内暴力と“食”の関係  
 85. 04. 13 生徒の「ほめ方しかり方」手引書 千葉県教委が教師向けに作成へ  
 85. 04. 30 校庭でリンチ 女子中学生けが  
 85. 05. 05 [(社説) こどもを考える三つの心構え]  
 85. 05. 10 [体罰でショック死 科学万博見学の高校生] ※この後、体罰が問題となる  
 85. 05. 14 千葉は非行対策の先進県!? 教組も指導書 教委の手引書と「競争」  
 85. 05. 25 中三、校内で逮捕 先生に暴行 校長が通報  
 85. 06. 07 (社説) 荒れる子らの心の病院を  
 85. 06. 14 [骨折一実は教師のせい 足立区の中学校 事故と報告]  
 85. 06. 22 「[教師の暴力] こんなに 殴るける日常的心身とも深手負う 本社へ続々と投書」  
 85. 07. 11 [息つまる厳しい校則、「生徒手帳」日教組、見直し提案]  
 85. 07. 17 高校生、校舎爆破凶犯「生活指導厳しすぎる」長野  
 85. 08. 22 少年非行は減少傾向づく 60年1-6月3.4%減  
 85. 09. 27 「いじめられ自殺? 同級生が「金持って来い」いわき市」  
 85. 10. 01 いわき市の中学生自殺 いじめ・実態は暴行殴るのにチェーンも ※校内暴力といじめ  
 85. 10. 02 同級生2人を鑑別所送致 (いわき市の中学生自殺)  
 85. 10. 12 生徒7人を書類送検 (同上)  
 85. 10. 16 [校則づくめ、いじめ誘発 日弁連が公立中985校調査]  
 85. 10. 18 「「いじめ」根絶へ決意表明の方針 中学校長会」  
 85. 10. 22 [(社説) 危険な「力の教育」への傾斜]  
 85. 10. 24 「いじめ」「重症例」急増 59年度の相談523件 文部省初調査  
 85. 10. 27 職員室へ十数人乱入 生徒指導の教師に暴行 鹿児島の中  
 85. 10. 28 同級生の暴行が原因? 女生徒、記憶失う  
 85. 11. 08 校内暴力で出産断念 妊娠教師の腹部ける 公立中3年男子 注意受け逆上 昭島  
 85. 11. 12 下級生次々脅し現金 いもづる式に120人被害 栃木の中  
 85. 11. 15 「いじめは体罰とも相関関係 都教委が指導指針」  
 85. 11. 18 非行生徒を“隔離”保健室で授業 習志野  
 85. 11. 20 妊娠教師けた中学生逮捕 昭島  
 85. 11. 22 羽田中、暴力事件も続発 過去3年補導10件 いじめが背景に ※校内暴力といじめ  
 85. 11. 27 校内暴力に悩んだ先生の自殺「公務災害」と認定  
 85. 12. 06 中3三人、職員室に入り教師を次々に殴る 板橋  
 85. 12. 11 自殺、過去に3件も 青森の野辺地中 いじめ・校内暴力…根深い荒廃  
 85. 12. 20 若者に病理現象、すそ野広がる非行 青少年白書が指摘 (記事数 28件)  
 86. 02. 03 「[このままじゃ生きジゴク] いじめ、中2自殺 (中野富士見中) 父の郷里」  
 86. 02. 05 横須賀では先生負傷 朝礼直後、五人が殴る 大楠中  
 86. 02. 07 “密告” 恨み級友リンチ 校長室前で「出てこ

- い」横浜の中学生
86. 02. 13 暴れる生徒 無力な教師 授業中乱闘知らんふり 警察が1人逮捕 中野富士見中  
※校内暴力といじめ
86. 02. 14 中野富士見中授業中の暴行先生は止めなかった他の級友も証言
86. 02. 15 殴ったのは五、六十回 逮捕の少年認める
86. 02. 16 中野富士見中の生徒逮捕 疑問の声相次ぐ 区議会委 二生徒あす登校
86. 03. 07 中三が集団リンチ 女生徒胸の骨にヒビ 町田
86. 04. 02 [生徒16人を書類送検 中野富士見中の「いじめ」]
86. 05. 27 教師に暴力、番長逮捕 女生徒自殺の羽田中「荒れる学校」まだ?
86. 07. 24 リンチで生徒けが 中野富士見中3年
86. 09. 04 「いじめ」減少の兆し 関係事件4割減、自殺半減 一方で校内暴力増える 今年上半期
86. 11. 06 体急成長、仕返し暴力 中三の男子二人を逮捕 港区
86. 12. 05 学校を襲撃 ガラス割る 中学生39人逮捕
86. 12. 10 中学生の登校拒否、10年で3.6倍 校内暴力も減少率鈍る
- (記事数 13件)
87. 01. 31 鹿川君、見てるかい 暴力追放ヘスクラム 中野富士見中
87. 04. 18 警察が守った卒業式は減少 ピーク時の二割に
87. 06. 24 「突っ張り度」テストし、恐かつ伝え十数年 栃木・小山の中学
87. 09. 12 [いじめ減る 小中生の登校拒否は最高に 61年度の文部省調査]
87. 09. 12 [いじめ、一段と陰湿に 管理強化心配の声も文部省の調査]
87. 09. 13 [(社説) いじめは減ったけれど]
87. 10. 07 3人で先生殴る 暴言受け? 姿消した教諭も 川崎の中学 髪形注意され根に持ち
87. 12. 26 [無職少年の非行増加]
- (記事数 4件)
88. 03. 05 荒れる中学再建、規律より授業で 鹿川君事件の中野富士見中、研究まとめる
88. 03. 29 [卒業アルバムの顔写真「ツッパリ」はずす 清水の中学 男女5人、花で代用]
88. 04. 07 [校則違反、授業受けさせず 静岡焼津中]
88. 04. 09 [校則緩和迫る 文部省「実態に応じ適切に」問題多発急ぎ対処]
88. 04. 23 2中学けんか、暴行 中野2日続き1人が入院
88. 05. 29 生徒に殴られ先生骨折 横浜の中学
88. 08. 09 少女の非行が急増(校内暴力は減少) 警察庁
88. 10. 06 中学3年2人 教師殴り逮捕 練馬・貫井中
88. 10. 07 中三に殴られ先生5人けが 練馬・八坂中
88. 10. 15 校内暴力の被害生徒、2週間も自宅待機 秋田の市立中
88. 12. 03 (社説) 学校の窓をあけよう
88. 12. 19 少年非行の中で深刻な問題「いじめ」が57% 学歴偏重が背景の見方 総理府世論調査
- (記事数 9件)
89. 02. 15 中学生、木刀で「討ち入り」けがさせるわガラス割るわ 川崎の中学
89. 02. 25 帰国者生徒に教室内で暴力 高知市の公立中
89. 03. 20 中学の卒業式、「暴力」変質し静かな式 生徒間減り対教師中心
89. 04. 12 喫煙注意、生徒荒れる もみ合い、先生11人が 市原の中学
89. 05. 17 サボリ注意の先生刺す 学校廊下で 横浜の中三
89. 05. 29 (論壇) 少年犯罪の根に教育力の低下 未熟な子を疎外しない環境と努力を
89. 10. 31 登校拒否の小中生、最悪の4万人台 校内暴力再び急増 文部省調査
89. 11. 17 男子中学生殴られ重傷 横浜・学校のトイレで
89. 12. 25 少年非行、刑法犯の半数超す 校内暴力・いじめ増
- (記事数 9件)
90. 06. 11 欠勤続きの校長が休職 校内暴力で悩む 高石
90. 07. 07 [校門に挟まれ死ぬ 神戸の女子高生「遅刻」と駆け込み]
90. 07. 31 [[論壇] 生徒の放任に苦悩する高校 学習意欲失い説得追いつかぬ]
90. 11. 14 校長が生徒を告訴 校内暴力に「限界」鹿児島市の中学
90. 12. 07 校内暴力ぶりかえす 7割が中学に集中 89年度の文部省調査
90. 12. 13 事態悪化招く 閉鎖性 生徒の暴行受けた元中学教師に聞く
90. 12. 28 (社説) 学校に新しい知恵を
- (記事数 5件)
91. 08. 12 [補導少年3年連続で減少 凶悪犯、覚醒剤乱用は増加 1-6月]
91. 10. 18 校内暴力で3年生2人を逮捕 松原の市立中学 <大阪>
91. 10. 24 注意され先生殴る 町田の中学校 校長ら3人けが
91. 10. 25 中2の男子が担任教師殴る 町田 ろっ骨にひび
91. 11. 22 [全身けられ、入院一週間 いじめ、女子中学生死ぬ 大阪・豊中]
91. 11. 24 校内暴力で教師けが 名古屋・中村区の中学校 <名古屋>
91. 12. 26 校内暴力の増加続く 体罰報告は実態下回る? 文部省調査
- (記事数 5件)
92. 03. 22 [髪を染めていた4人 卒業式から締め出す 目黒3中]
92. 04. 07 [校則違反生徒に個別授業 立川市立中 プリントで自習 今春卒業の約15人 1年~1年半]
92. 04. 10 [隔離指導の乱発「待った」文部省「個別授業」に慎重な判断求める]
92. 06. 03 高校3年生が同級生を刺す 東京・大塚
92. 08. 12 指導少年減る 今年前半まとめ
92. 08. 13 高2生徒と父親、4教師に暴行 退学促す訪問受けて計6人で
92. 12. 03 下級生に7人で暴行 女子中2、飛び降り重傷 川崎の中学
92. 12. 23 生徒間暴力目立つ 中・高とも件数急増 文部省まとめ
- (記事数 5件)